臺灣日日新報

新雜誌 日の出 十月號

滿洲國縱橫談
滿洲國總務長官 駒井德三

▲祖父（山本權兵衞伯）を語る　伯爵令孫 山本滿喜子

▲父（齋藤實子爵）を語る　子爵令嬢 齋藤 齊

▲滿洲の守護神小村壽太郎　小松 綠
（小村氏が居なかつたら滿洲は今頃米國に取られてゐた）

▲時代の風はここにも吹く！ 華族は惱む　木田 亮佐

▲空閑少佐は語る
▲現内閣の二長老（漫畫訪問）

▲讀書の喜び　遞信大臣 南 弘

▲太陽と共に起きる！（早起實行の長い經驗から人生向上の道を指示す。萬人必讀！）　新潮社長 佐藤義亮

働け かうして働け（現代五名士の活動ぶりを見る）
●推薦の言葉　齋藤首相
頭腦の鍛へ方使ひ方　醫學博士 佐多芳久
廿四時間無駄なく働け　上野陽一
◇徳富蘇峰氏 ◇久原房之助氏 ◇賀川豊彦氏 ◇曾我廼家五郎氏 ◇大川平三郎氏 等の働きぶり

結婚豪華版
◇花婿後藤農相の花嫁 ◇一萬圓の花嫁
◇スタンドに結ぶ戀 ◇伊藤述史夫妻
◇林長二郎の結婚 ◇失戀の異國女へ

戰場怪談
肉彈少將 櫻井忠溫（布施長春畫）

▲日本は果して侵略者か　永戸政治
▲雄々しく起ち上る村々　熊谷辰次郎
▲近代美十景 ▲新東京膝栗毛 ▲日の出の人（八人）

冒險實話 火線上の猛獸狩り
宮原晃一郎

▲人間萬事 眼の着け所
▲運を拾つた話　徳富猪一郎・小林一三・武藤山治・中村不折・牧野元次郎・森永太一郎・江木理一の諸氏

早起禮讃

▲動物園で會つた女　純情小說　北村小松
▲瀆された天女　捕物綺譚　野村胡堂
▲燃える富士　時代小說　吉川英治
▲心の波止場　現代小說　牧 逸馬

▲長篇小說 仇討二番原　子母澤寛
▲諧謔小說 世路第一歩　佐々木邦
▲探偵小說 白魔　大下宇陀兒
▲軍事小說 第三の曉　山中峯太郎
▲長篇小說 新女性線　中村武羅夫
▲長篇小說 日本の戀人　三上於菟吉

●映畫子役物語
●驚くべき殺人光線の話
●名畫ロマンス
●動物の智慧物語

▲大衆コント
◇清川八郎　佐々木味津三 ◇武士道遊び　濱本浩
◇物言はぬ象山　邦枝完二 ◇蜻と蜘蛛　田中貢太郎

日の出名人大會
◎ラヂオコメディ（汐見洋）◎琵琶 ◎落語（柳家小さん）◎浪花節 ◎講談（大島伯鶴）◎漫談（松井翠聲）◎万歳（砂川捨丸）

別冊附錄 米露と戰つて日本は勝つか
別冊附錄は堂々百十餘頁、優に大書籍一冊の内容を有す。

陸軍省・海軍省推奨 參謀本部

參加將星
（陸軍の部）
志岐守治中將
四王天延孝中將
高田豐樹中將
谷田繁太郎中將
二子石官太郎中將
渡邊滿太郎中將
伊藤政之助少將

（海軍の部）
竹內榮喜少將
遠藤 格少將
福田一郎少將
井上四郎少將
關根郡平大佐
武富邦茂大佐
加藤尙雄中佐
岡 敬純中佐

陸軍・海軍 大座談會

如何にして米大艦隊を撃ち、如何にして赤露大軍を破るか？ 智將猛將が語る無敵日本、強力日本の實力を知れ！ 熱血躍る大內容!!

非常時日本の國民…!!

オリムピック實寫小說 決死の一跳び
竹田敏彦

★オリムピック畫報
★水上爭覇實景放送
（映畫物語）進めオリムピック

定價 附錄共 五十錢　東京牛込

滿洲國承認諮詢案 樞府精査委員會で可決

滿場一致で原案通り

(東京十一日發電通) 樞府精査委員會は御諮詢案を承認するに滿場一致を以て決定し原案を可決し午後四時半散會した

十三日の樞府本會議て 滿洲國の承認を決定

十四日中外に聲明書を發表

(東京十一日發電通) 滿洲國承認の樞府審査委員會は政府原案を承認し、十三日の本會議で御諮詢案の正式承認を見ることになつたので、十三日の定例閣議を午後に繰延べ案の御下渡を受けた上、閣議に於て諸般の手續を完了し齋藤首相は直ちに参内陛下に上奏御裁可を得たる後外務省に廻付し、内田外相よりこの旨を武藤全權に打電し、滿洲國この間に正式承認の手續を行はしめ之にて全部の準備手續を終り豫定の如く十四日滿洲國承認を發表し、同時に中外に聲明書を發表することになつた

政府の説明に滿足

樞府審査委員會終る

原案通り可決に決定

【東京十一日發電通】樞府審査委員會は午後一時半再開、引續き質問に移り一、二委員を除く全委員より承認手續、聯盟對策に對し質問ありたるも内田外相、荒木陸相より答辯あり圓滿に進行午後三時三十五分質問を打切り政府側退席し樞府側のみ居殘り態度決定に付き協議の結果御諮詢案を承認するに滿場一致決定、原案可決し午後四時半散會した、尚樞府では二上書記官長の手で審査報告書を作製した上十三日午前臨時本會議を開き緊急上程することになつた

樞府審査委員會 宮城内で開催さる

齋藤首相から理由を説明

【東京十一日發電通】樞密院の滿洲國承認に關する審査委員會は十一日午前九時半より宮城内の樞府事務所に開會、倉富議長、平沼副議長、富井、荒井、河合、石井、黒田、有馬、原野各委員、政府側より齋藤首相、内田外相、荒木陸相、岡田海相、永井拓相、堀切法制局長官、有田外務次官、柳川陸軍次官、山岡軍務局長、松田條約局長、谷亞細亞局長外關係官出席平沼委員長議事の挨拶に次ぎ齋藤首相先づ御諮詢案の理由を説明し引續き内田外相より御諮詢案の内容を詳細に説明し直ちに審議に入り先づ平沼委員長初め富井、石井、有馬氏等の顧問官から滿洲國承認の時期、承認後の對策その他外交關係及び國際對策等に亘り政府の態度如何等の質疑あり之に對し内田外相、谷局長等より夫々答辯あり零時半休憩一時半再開となつた

陸相とマーシャル氏 重要意見を交換

現下の時局問題を中心として

【東京十一日發電通】紐育の金融業者のアメリカユナイテッド・プレス社長レイ・ジー・マーシアル氏は十日午後三時同社東京支配人ダオーン氏と共に陸相官邸に荒木陸相を訪問し新任の挨拶を爲した上種々意見の交換を爲し四十分辭去したが會談の概要は左の如し

陸相 今日の情況となつた上は率直に自分の考へを表明することがお互ひの爲めと思ふ、從つて時に別過ぎる樣なことを云ふかも知れないが然し我々はワシントン大統領の崇高なる理想の精神並びに夫々受繼いだルーズベルト氏の公明正大な精神には感服もし同感もして居りこの精神をアメリカに對する根本觀念としてゐる

マーシヤル氏 今日日米間に色々の思い噂が起つてゐるが米國人としては日本人に對し惡い感情は持つて居らぬこの間のオリムピックで西中尉が優勝した時見物してゐた米國人が皆立上つて喜んだことを知つてゐる

陸相 アメリカと日本の根本的立場[illegible]爭をとらへず枝葉のみをとらへて論ずるから惡い噂も起るのであるアメリカは亞細亞の現狀をどう見てゐるかこれで良いと思ふか良いと思ふならそれは大きな間違ひだから日本としては亞細亞を良くする爲めにぶつかつて行かねばならぬ若し思いと云ふなら日本と共に良くする樣に協力すべきである

マ氏 だから自分はもう一度滿洲を見て行く積りだ

陸相 東洋の内部でこんなことを云ふのは面白くないが支那が今のままではどうにもならぬ

マ氏 今日支那公使が訪問したのはどう云ふことか

陸相 日支親善の爲めに滿洲問題に關する日本側の共助案を聽きに來たと云ふのだ

マ氏 支那公使は日本と眞の親善を結ぶことを希望してゐる樣に見えたか

陸相 日支親善の爲め滿洲問題に對し支那人は默つてゐられぬと云ふことであつた

マ氏 ナショナルシテイーバンクの撮影事件に付き米國人は騷いでゐるこれには餘り日本を良く思つてゐない樣だ

陸相 何も報告は聽かぬが何かの間違ひではあるまいかアメリカはワシントンの建國精神を守り日本は明治大帝に依つて確立した發展を中心として行くと云ふこの根本を失はぬ限り日米關係は決して惡化する答はないと思ふ

西園寺公

十月迄京都滯在

【御殿場十一日發電通】既報の如く御殿場に靜養中の西園寺公は近衞公等の招請を受け内田外相等より一般政情の報告を受けたので十五日御殿場發京都に赴き田中村淸風莊に入り十月末迄滯在の豫定

十三日の樞府本會議

【東京十一日發電通】十三日の樞府本會議は午前十時より開會する事に決定した

佛國政府獨逸へ回答

【パリ十日發聯合】佛國政府は先般來獨逸政府の提出せる軍備平等權要求覺書に對する回答案研究中であつたが十日閣議で佛國政府の回答書の最後的決定を見、十日直にドイツ政府に送致した

中川總督孔子廟芝山巖視察

中川總督は十二日午前九時官邸發臺北孔子廟及び芝山巖の視察を行ふ

多額議員選擧に政友壓倒的勝利

中立は倍數の十二名

【東京十一日發電通】貴族院多額納税議員選擧(定員六十六名)は十日一齊に執行されたが北海道、山形、福島、長野、沖繩の一道四縣を除いた三府三十九縣(定員六十八名)は即日開票され、その結果

民政 十二 民政系 五
政友 二三 政友系 五
國同 一 純中立十二

總數となり殊に十五名の候補者中十二名當選の高率を示してゐるのは我國一致内閣の選擧に適ほしい現象と見られやう、今回の選擧は大衆選擧でないからこの結果は直ちに民意の歸趨を察知することは出來ぬが千渉も少なく比較的公正に行はれたものとして注目に値する

尚右三府三十九縣に於ける從來の分野たる民政二十民政系八、政友二十政友系四、純中立五名に比較する時は民政派は十一名を失ひ政友派は四名を増加した結果となる、純中立が六名を増し從來の十一日は殘りの北海道、山形、福島、長野、沖繩の一道四縣(定員八名)が開票されるが山形、長野沖繩は無競爭であるから實際は五日の結果で大勢は決したものと見られる

多額議員の當選者

【東京十一日發電通】十日全國一齊に執行された多額議員選擧の結果左の如し

熊本縣(定員一名) 長野 東次(政 新)
山梨 廉(同 同)
埼玉縣(定員二名) 松本 虎(政 新)
田中 傳兵衞(政系 現)
三重縣(定員一名) 小林 嘉平次(中立 現)
秋田縣(定員一名) 辻 兵吉(民 新)
京都府(定員二名) 風間 八郎右衛門(中立 現)
大澤 德太郎(中立 新)
山梨縣(定員一名) 名取 忠愛(中立 現)
栃木縣(定員一名) 久保田 三郎(政系 新)
佐賀縣(定員一名) 石川 三郎(政系 新)
大分縣(定員一名) 久恒 貞雄(政 新)
茨城縣(定員二名) 大和田 悌二郎(民 新)
青木 才次郎(政 元)
奈良縣(定員一名) 山本 米三(民 新)
鹿兒島縣(定員二名) 久米田 新太郎(政 新)
上野 安左衛門(中立 新)
千葉縣(定員二名) 三橋 [illegible](政 新)
濱口 儀兵衛(中 現)
群馬縣(定員一名) 澁谷 [illegible](政 新)
岡山縣(定員一名) 坂野 鐵次郎(中 新)
兵庫縣(定員二名) 山上 [illegible](政 現)
田村 新吉(民 現)
宮崎縣(定員一名) 松岡 [illegible](政 新)
福岡縣(定員二名) 岩崎 正之(政 新)
大藪 守治(政 新)
太田 清蔵(政 現)

新に軌道にのする 日本の對支方策

外相から蔣公使に回答

【東京十日發電通】十日午後の蔣公使の往訪に對し内田外相は左の回答を爲し今後の日支關係を日支滿三國協調の軌道の上に載せんとする日本の對支方策を闡明せるものとして注目されてゐる

一、日本政府は近く滿洲國に對し正式承認を與ふるの決意を有しこは帝國政府の確固たる既定方針で國民の熱望するところなり、日本政府は譬へ他國よりの申入れに接するも今更承認を中止することはない

一、日支親善と滿洲國承認とは別箇に考へねばならぬ、滿洲國は滿洲事變渦中に別箇に發展せるものにして我等は新たな立脚點に立つてこの問題に對さねばならぬ即ち滿洲國問題で今後の日支關係の阻害さるる事は兩國の爲め取らざるところなり

一、日支親善の維持は日本の切望するところにして陳後の中國と不和なる事態を繼續するは何等益なく日本政府の斷じて望むところに非ず中國にして日本の承認を公正に諒承して日支滿三國の協調親善を認識されるならば自ら日支親善を緊密に保持すべき事は疑ひを容れぬところなり

追從から能動へ

正義を高く掲げて獨往

帝國の外交方針決定

【東京十一日發電通】待望された我國の滿洲國正式承認は滿洲國の獨立宣言を發してより半歳餘りにして漸く目前に迫つたがこの我國の滿洲國承認こそはペルリ提督來航以來の我受動的追從外交を一擲して正義を高く掲げて自主獨往その公正なる主張を貫徹するがため膠れる國際輿論に抗し無援孤立に陷るも辭せず我對外政策の追從から能動への歷史的轉向を世界に誇示するものとして重大な意義を持つ而して我強硬な滿洲國承認に對しては英、佛、伊國等の列國は既に其止むべからざるを悟つて居り聯盟關係に關しても日本の滿洲國承認てふ一事を以て聯盟の運命を賭するが如き愚は極力避けんとしてをり又アメリカに於ても有力な意見は滿洲國不承認のスチムソン主義が結局無收獲に終る事を豫見してスチムソン主義の固執を非難してゐるので右滿洲國承認に依つて俄かに國際關係の惡化は豫想されぬが列國の希望を無視して一路滿洲國承認を急行する以上爾後に於ける我國際關係の調整こそ最も緊急とする所だが之に關する内田外相の一般外交方針は從來の言動よりして次の如く要約し得る

一、我行爲は國際法規及び國際慣例に照し何等非難さるべきものを持たぬ故にその公正なる所信を行ふに方り一切の掛引要爾の謀策を避け他を欺かず又自らを欺かずを以て外交上のモツトーとし國交上最大の障害たる誤解の發生の餘地を無くすること

一、支那政府に對しては滿洲國獨立の歷史的必然性を認識し日支滿三國強調主義に立脚し日支親善を增進し三國提携して極東平和の維持發展に力を致すやうその謬れる對日對滿態度を改めんことを切望する此の點に就ては日支間に圓滿なる商議を行ふ用意を有する

一、滿洲國承認についてもその必然的理由を具して挨拶の形式を以て主要列國に豫報する然し之に對し事前又は事後に於て他國から如何なる申入れあるとも我滿洲國承認を中止又は取消すが如きことは斷然爲さず

一、滿洲國の門戶開放、機會均等は我國の最も尊重する所で我國が之を獨占せんとしてゐるとの誤解に對しては事實と時間の經過に依りその誤解を實證せんとする我國は滿洲國を承認しても獨占主義を執るものでなく況んや英、米、佛、伊、露、獨等との國交は以前にも増し親善ならん事を切望する

一、萬一右の公正なる我態度に拘らず我國に有形無形の重壓を加ふるものある場合之に對し敢然として反撥を加ふるも辭せず最惡の場合には聯盟の脱退も何等躊躇する所でない

大和丸ニユース

明糖問題で逃げる平山氏

砂糖の有望を說く大西氏

【基隆電話】大和丸は豫定より遲れ十一日午前十一時基隆に入港した、同船で※臺灣製糖專務平山寅次郎氏が歸臺したが明糖事件の話題をすると

賴むからそんな事は聞いてくれるな、僕としては一言も洩らす事は出來ないのだ、第一僕の立場がなくなつてしまふから君らの前に平身低頭して頼むよ

とどんなに突込んでも逃げ廻つて同事件については何等の返答も與へなかつたが※を變へて語る

課稅標準を變へる事についても明糖事件と關係のある事だから言へない分蜜糖が又下つた一時十四圓迄上つたが僕が內地を立つ時は十三圓六、七十錢だつた非常な勢で上つた反動であらうこいつは理窟ではない

同船で歸つて來た鹽糖常務大西一三氏に同じく明糖事件を突込むとこれ亦そんな事は先輩の平山さんに聞いてくれ給へと逃げ廻る

貿易關係で砂糖の輸出が増加し今年度の少する豫定だ現在の日本の砂糖ストツクは三、四百萬擔に達し消費量は一千二百三十五萬擔と聯合會で發表してゐるが漸次消費量は増加しつつあるから年五分宛増加するものとして十三年目即ち昭和二十年には現在の消費量の倍即ち二千五百萬擔になる故に改新の製糖能力は現在の倍にせねばならぬ設備が必要であるしかしこいつには輸出の事は少しも考へてゐないのだから

砂糖屋としては倍以上の製糖にするつもりでゐなくてはならない滿洲國に製糖業が起らぬものとすれば吾が製糖業界は實に前途益々有望である

◇

督府營林所庶務課長佐治孝德氏が歸臺した

內地へ臺灣材の賣込契約に行つて來た出先は九州、大阪、名古屋、靜岡方面右契約石數七萬石今米材が爲替關係から高く騰貴したため輸入なく非常に中丸太の値がよくなつてゐる又北洋材がどんどん入つてゐるが樺太で販路統制をやつたため値は非常にいいこれがよくなつて木材界の景氣は漸次持直しつつあるかの如き氣配が見える又今年から初めて臺灣杉檜を輸出す事となつたがこれは米檜の代用として關西方面の商人にうけがよい木島としては將來有望視していいだらうこれは總契約の中六、七千石位のものであつた

人事

▲平山寅次郎氏(臺灣製糖專務)十一日內地より基隆入港夜行にて歸東へ

▲大西一三氏(鹽水港製糖取締役)十一日來臺(鐵道ホテル)

▲杉野嘉助氏(木社經濟部長)十二日中南部へ

▲高橋靜一氏(日立鑛山會社技師)十一日南部より來北(鐵道ホテル)十三日內地へ

▲吉良利吉(府技師)一週間の豫定を以て中南部に出張

▲山瀬照氏(昭和製糖専務)南部出張中のところ十一日歸北

國民同盟聯合會

【東京十一日發電通】立憲政治確立を進めつつある國民同盟は十月午後三時から丸の內本部に於て黨の組織に關する委員會を開き安達總裁以下各委員出席、十二日の[illegible]に附議し決定的政策[illegible]

專賣特許 六一〇ハツプ

家庭溫泉療法實驗無料公開

婦人病、皮膚病、胃腸病、神經痛、リウマチス、動脈硬化、痔疾、冷え性、あせも、たゞれ。等に對する六一〇ハツプの入浴と濕布應用療法が如何に偉效を奏するかを實驗公開すべく今回特に本舖より療法指導員渡臺致候に付ては御病人は此機會に御實驗と同時に是非簡易に出來る此家庭療法を體得せられ速に快癒せられんことをお奬め申上候

△無料だからとの無用な御遠慮は壽命を縮むる基です
△入浴せねばならぬから可成浴衣掛けて手拭を御持參願ます

日時 九月十三日より十七日まで五日間(每日午前九時より)
場所 臺北市京町藥業組合事務所樓上(貯銀の裏)

主催 發賣元 武藤紅合名會社 宣傳部
臺灣代理店 株式會社 宅商會

記念贈答用品として好評の
銀製竹筏置物
各種豐富荷揃
臺灣物產百貨店
山一物產販賣所
臺北・榮町 (電話九七〇番 振替臺灣八七三番)

九月十三日より五日間
セール 英ネル新柄賣出し
特價 一ヤール 金三圓五十錢 / 金四圓
冬物新柄銘仙 第二回特價提供
銘仙 特價一反 金三圓三十錢 / 金四圓五十錢 / 金三圓五十錢 / 金四圓
お八掛には鐘紡の平絹 くはのフドーモスリン
丸山吳服店 臺北市本町 電話二九五 九六三番

台北市本町二ノ二 電話二三〇番
內科眼科 大竹醫院

台北市表町二ノ二十 電話八六番
肛門梅毒科 臺北肛門病院

商業登記公告
●株式會社澎湖銀行監査役井上德太郎八昭和七年九月參日任期滿了ノ爲重任
右昭和七年九月拾日登記 臺北地方法院
●有限責任沙止信用組合(變更)理事陳文雲ハ昭和七年八月參拾日死亡ス
右昭和七年九月拾日登記 臺北地方法院基隆出張所

大阪商船株式會社
蓬萊丸 九月十三日前十時發 門司・神戸行
扶桑丸 九月十七日前十時發
大和丸 九月二十三日前十時發
吉野丸 九月廿四日前十時發 門司・神戸行

産業ページ

本島養殖業の由來と現狀

虱目魚養殖の濫觴は鄭成功時代

養殖魚類の覇王は虱目魚

本島の海岸は周る延長僅かに二百九十里、それに太平洋に面して居る東海岸は殆ど斷崖を形成して居り

臺灣海峽に面して居る西海岸は一帶に遠淺にして洲の發達が著しく風浪を防ぐに足る灣入乏しく、僅らしい灣は北海岸に基隆、淡水、南海岸には安平、高雄の四灣あるのみである、その上西海岸は干潮の差著しく干潮時には干潟五哩以上に及ぶ所が少くないのみならず季節風時期には季節風が激しく、古昔に於ては沿岸漁業を顧みるものがなかつた、その爲め人口稠密なる西海岸地方における

鮮魚の給供は大部分養殖魚に俟つの外なかつた、そこへ幸ひなことには沿岸一帶の地は沼澤に富み、養殖池の築造に適して居るので養殖魚業は夙に發達して居た、養殖魚業は現時に於ても本島水產業界の重要なる位置を占めて居り鹹水、淡水の二通りがある、その養殖種類を見るに鹹水池にては虱目魚、鯔、蝦、淡水池にては草魚、鯉魚、鰱、鯽魚、虱目魚等が主である、而して此の內に重要なのは虱目魚である、虱目魚（サバヒー）は今より二百六十餘年前

鄭成功時代に行はれたものの如く、その沿革は最も古い而して此の魚の苗（稚魚）は春夏の頃南から北へ海流に乘じて來游するのを主として鳳山郡以西の沿岸で交藤布製の網を以て掬ひとり一日粘土の池で飼育して翌年三、四月に養殖池（魚塭と稱す）に移して養殖するのである、魚苗は近時價格次第に騰貴し一萬尾平均百圓以上を唱へ、甚だしきは一百五十圓に達することがある、養殖業者は之を買入れて魚塭に移して養殖するのである、魚塭は粘土で外堤を築造し小さきものは一、二甲歩

大なるものは百甲以上に及んで居るものさへあるが、それを更に堤防で區劃を付けて居る、外堤は極めて強固に可成高く築造するのもあるが、一面に粗笨にして低くそれが爲め雨季出水の折往々養魚の脫出を見るのは珍しくない位である、而して收容量は一甲當り當歲魚なれば二千乃至八千尾、越年魚なれば二千乃至三千尾位である、飼料は肥料を用ひ、人糞を主とし補助肥料として落花生油粕、大豆粕、胡麻油粕、米糠等を用ゐ放養所の餘剩物として茶粕を使用して居る

四月頃放養の越年魚は六七月頃には三尾で一斤位となり當歲魚は十一月頃には四尾一斤位に成長するのが普通である夏季雨の少き時は濃味あまり濃厚となつて酸素のために犯されて死ぬるのもあるが冬季氣溫の甚しく低下する時は凍死するのがある、その爲め十一月末より三月に至る間は特に養魚池の一部に冬期池又は南面せる注水溝に移すのが普通であるやうである、その爲め臺南以北は冬季寒冷のため凍死するので全く養殖することが出來ないのである、之に反して

西部海岸は遠淺で沿岸の地勢は平坦で年々土砂を堆積して廣潤なる海埔地を形成するので自ら養魚池の築造に適するのみならず南部地方では五月乃至十一月は雨季に當り天候に變調のない限りは自然に潮水をうすめて發育を順調ならしめるのでその發育は殆ど南部地方に限られて居る

養殖業と虱目魚の地位

南部に於ける養殖業は全島水產養殖總額の五割七分を占め、これを地方的に見れば臺南州は七、高雄州は三の割合で、この外臺東廳及び新竹州に行はれて居るが極めて少額である、養殖面積も從つて臺南州がその大部分を占め、高雄州が之に次いで居る、而して、虱目魚養殖の全島水產養殖業に占むるの地位を明かにする爲め、先づ第一に本島に於ける全養殖業總數及び總面積を擧げて見よう（以下統計昭和五年度までの分は督府發行第三十四統計書に據り、六年度の分は督府水產課調査に據る）

年次	經營數	總面積
昭和二年	二、四四七	二七、五九九
同三年	二、〇九九	二九、〇〇三
同四年	一〇、八〇五	二八、二五五
同五年	一一、一八二	二八、四四八
同六年	不詳	二八、〇四七

右の中虱目魚養殖の分は

年次	經營數	總面積
昭和二年	一、六六五	七、二六七
同三年	一、五九九	七、三五五
同四年	一、八二〇	七、三〇八
同五年	一、八六五	七、四四七
同六年	不詳	七、二四四

而して昭和五、六年度に於ける虱目魚養殖總面積につき主要養殖地方たる臺南、高雄兩州の之に占むる面積を見るに

年次	臺南州	高雄州
昭和五年	四、六〇六甲	二、一七五甲
昭和六年	四、六六五	二、四六九

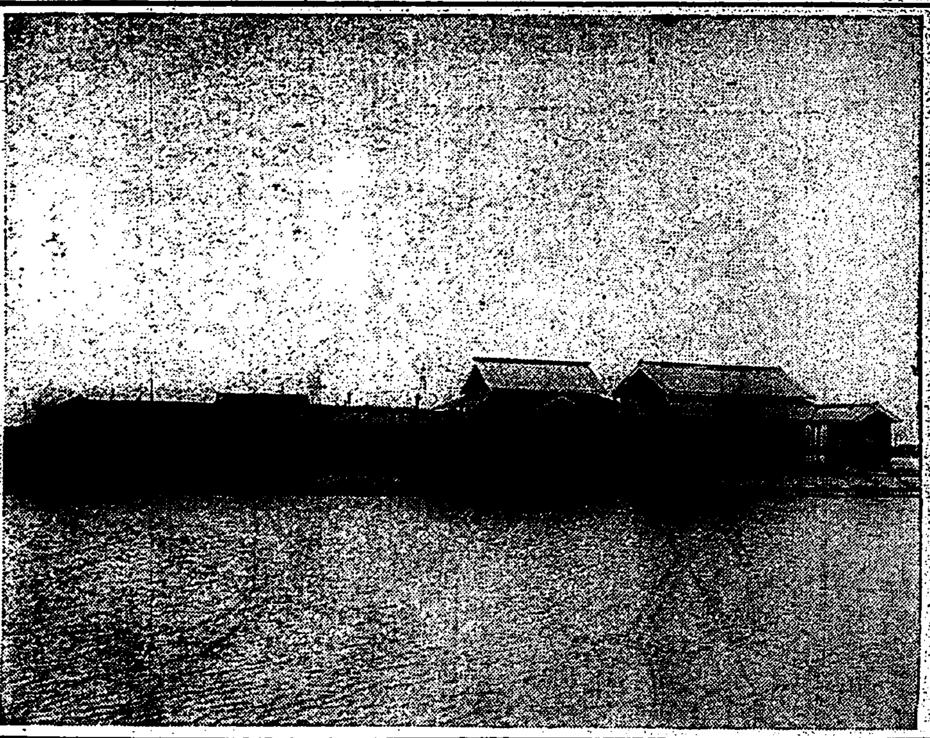
即ち右兩州の養殖面積は虱目魚の總養殖面積の殆ど全部を占めてゐると云へる更に昭和二年以降に於ける全島水產養殖總收穫額と之に占むる虱目魚の收穫額を對照して示せば（單位圓）

年次	總額	虱目魚
昭和二年	三、九〇〇、五九一	二、三四九、四七〇
同三年	三、四〇一、七七九	二、〇八〇、一四九
同四年	三、六二四、六四四	二、三三五、一四一
同五年	三、一四〇、六九一	二、〇〇〇、六八八
同六年	三、〇四七、五一一	一、七六五、一八七

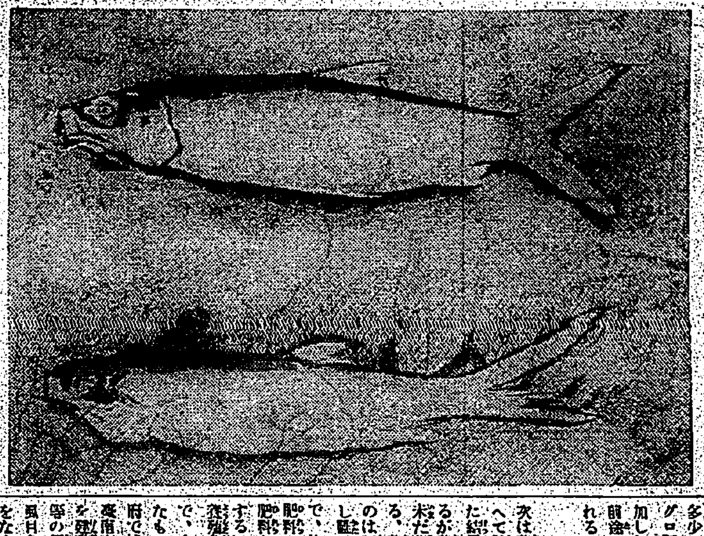
占むる虱目魚の收穫額を示せば（單位斤）

年次	虱目魚收穫高
昭和二年	一一、七四九、五〇八
同三年	一〇、三八一、六五九
同四年	一一、六二七、九三一
同五年	一二、一七五、二七八
同六年	一三、三一七、五一七

而して右收穫額の增減は主として價格の高低に因るものである今虱目魚のみにつき昭和二年以降における收穫高を示せば以上述べて來た所に依りて明かなる如く、虱目魚の養殖は地勢、氣候習等の關係で南部臺灣にて



總督府水產試驗場臺南支場



養殖された虱目魚

虱目魚は鮮魚供給上重要なる地位を占めて居るのである、然しながら大正十三、四年來トロール漁業、機船底曳き網漁業及び機船マグロ延繩漁業が勃興し其の漁獲物が南北に供して居るたい

養殖法と肥料

次に養殖方法について一考察を加へて見るに、近年施肥法を增加し多少飼料を與へては居るが近時マグロ延繩飼料として頗る著しく增加したのでその漁獲高が殖え爲め結果養殖魚數に增進を示して居るが養殖の技術は簡單放養的であり未だ幼稚の域を脫して居ないやうである、養殖肥料の如きも、主なるものは豚糞、人糞等で人爲的に生産し難い爲め價格次第に騰貴するので、比較的安價で供給困難な化學肥料を使用する傾向はあるが從來肥料との效果明確でない故、普及するに至つて居ない、されど肥料は養殖魚生產費の大部分を占めるので、之が經濟的試驗は極めて必要なものと云はねばならない、督府では早くより此の點に着眼し臺南市上鯤鯓に水產試驗場の支場を設置して蝦、牡蠣、スッポン等の飼育、種苗、飼料試驗をなす外虱目魚の飼育、帯蝦との混養試驗をなすと共に虱目魚飼料肥料の比較試驗をなし、而して居るにも拘らず、一般養殖業者には餘り知られてゐないので序に業者の參考に供して置きたい

虱目魚の肥料試驗

督府水產試驗場臺南市上鯤鯓支場で今までなした虱目魚の肥料試驗は施用比較試驗、施用比較試驗等で四種類であり、施用比較試驗は在來供用の代用肥料試驗、鹽分試驗、肥効試驗等で種々なる方法で行ひ代用肥料として、人糞、豚糞、茶粕の肥効の比較をなしたのであつたが、その結果、豚糞を主肥料とするのが特に效があることを確かめた、肥料施用配合試驗は豚糞、人糞、茶粕を同一配合で混用する區を比較し五號增加して居るに於て、その結果施肥區增加したのであり、その效果の良好なる施肥區は豚糞、大豆粕、硫酸アンモニア等の試驗の結果、代用肥料の試驗をなしたせるものは收穫良好なるを確かめた（以下略）

八、九年期の甘蔗植付實績

豫定面積七萬六千餘甲

七月迄に豫定の一割强

糖業聯合會臺灣支部調査、新式製糖十一社の八、九年期蔗園七月中の植付實績は一千五百十四甲にして六月迄の植付三百六十甲を合せて累計七千八百七十四甲に達す、一般蔗作自作四千六百六十二甲、植付豫定面積は初め蔗糖額を內地向一千萬擔を標準として割限すること協定し此の協定の下に作付六萬八千餘甲に止める筈であつたが、其後糖價の暴騰比較的好轉したので各社の內多少豫定面積を增加したところもあり豫定では七萬六千四百五十三甲の作付豫定となつてゐるが七月迄の植付實はその豫定の一割强に過ぎない、是は甘蔗代と米價との比較其他對抗作物の收穫が多少日和を見てゐるのと六、七年期の蔗作が案外の出來となつたので蔗農の懷具合が良く多少餘裕あるところから敢て前貸金を得ん爲め植付を急ぐといふ事情が乏しくなつた爲めで例年に比し植付が著しく遲れてゐることは注目すべきである、七月中及七月迄の植付實績を各社別に示せば

社名	七月中植付	七月迄植付累計
臺灣	一、二五四甲	一、二五四甲
明治	一、八五七	一、八五七
大日本	八四三	一、一四一
鹽水港	五〇九	五〇九
帝國	四二七	四二七
新高	一、四九三	一、四九三
昭和	七六	七六
新興	一六	一六
沙轆	三九五	四一七
臺東	三九四	四三四
新竹	二五〇	二五〇
計	七、五一四	七、八七四

更に各社の植付豫定と八月以降の植付見込を示せば

社名	植付豫定面積	八月以後の植付見込
臺灣	二〇、一三三甲	一八、八七八甲
明治	一二、八九四	一一、〇三七
大日本	一五、六〇二	一四、四六一
鹽水港	一〇、七〇七	一〇、一九八
帝國	六、八九七	六、四七〇
新高	四、〇二二	二、五二九
昭和	二、二三〇	二、一五四
新興	一、三四〇	一、三二四
沙轆	八九六	四七九
臺東	八五〇	四一六
新竹	八八三	六三三
計	七六、四五三	六八、五七九

比較的植付が進捗してゐるのは新高製糖（高雄工場）、沙轆、臺東、新竹等の各社である

等閑視されてゐた本島米の石拔き

臺北州が率先して著手

『石拔米』と銘打つて賣出す

本島の産米は蓬萊種でも丸糯でも近年品質は非常によくなつたが石の混入の多いことが一大缺點とされ內地に行つてからは石拔きに少なからぬ苦心を拂つてゐる、それで內地の米商からは盛んに石の混入についての苦情を申込んで來る、が臺北州ではこの苦情に大に耳を傾け、先づ來る十一月から十二月にかけて出廻はる北投、士林附近の丸糯米に石拔きを勵行『石拔米』の特殊マークをつけて內地に賣出さしむることに決定し目下其の準備中である、これに刺戟され各地でも石拔きが行はれることになるだらうと默はれる、何故に石が混りこの石をどんな風にして取除けてゐるかを紹介し斯界の參考に供することとする石の混合は衞生上の立場から考へても重大な問題である

本島産米に石の混入狀況

本島米に石並に土塊の混入せることに付ては今更喋々する迄もなく一般の等しく認むる所で之が聲價向上を妨げつつあるもの少からざるものがある而も今日迄何等の解決をみなかつたのは采穀他に解決すべき重大なる問題が多かつた爲めで最近に於ては檢査に關しても又調製上の問題も逐次改善せられ今や內地の各市場の要求は多く斯の問題に集中せられてゐる

石の混入徑路

本島米に石の混入するは主として乾燥場の關係で乾燥場には二種類あり、一は農會獎勵のタールクレー乾燥場にして二は水田を乾燥せしめて急造せる乾燥場に牛糞を塗つたものである一に付ては大體に於て小石混入の嫌少きも現在非難の根源をなすものは二の急造乾燥場である、此の急造乾燥場は乾燥するに從ひ縱橫に龜裂を生ずるを常とし此の龜裂を防ぐ爲めに牛糞等を用ふるも元より之を絶對に防止すべくもあらず故に乾燥穀の移動又は攪拌毎に此の龜裂部に存在する石塊又は土塊は剝離して籾中に混入する此の石塊類は米粒大のものは現在用ゐらるる調製器具を以てしては容易に米と分離し難く遂に其の儘內地に移出せらるるものである

內地精米業者が行へる混入石の處置

石混入米は其の儘精白せらるれば精白中にまで混入することとなり衞生上は勿論其の不愉快極まりなきは辛に評騷する所である、されば精米業者は嫌つて石拔米を歡迎し本島米に對しては東京に於ては一日凡そ二十俵以上の消化能力あるものは自ら石拔機を備付けて石拔米の精白をなし夫れ以下の小店に於ては人夫を雇入れて手先にて之を排除し居り相當經費を支出し居る現狀で從つて石拔米と然らざるものとの値開きは相當大なるものあり朝鮮米は殆ど石拔器が普及し石拔米たることを表示して取引せられつつあり相場の如きも之を石拔米たると否とによりて値開きは五十錢に達するもの…斯の如く本島米が石を混入せるが故に內地の要求を充分充たし能はず大なる手數と經費を要せしめつつある現狀に於ては之が爲めに本島米の聲價の向上を妨げつつあること蓋し尠少であるまい

取引の變遷と宣傳の要

從來本島米が全島を通じて一律の標準米に依つて檢査せられ取引も標準蓬萊米として行はれたる時に於ては特に地方的宣傳の效果も少く必要性に乏しきも今日の如く檢査も三部制施行せられ取引も地方的銘柄に依りて行はるる樣になつては其の品種調製乾燥等の優劣なるものが商價に取引せらるることとなり之れなきものは下値に滿足せざるべからざるは已むを得ざる自然の法則である、然し特に銘記せざるべからざるは宣傳の效果である、總ての商品にして其の宣傳が販賣上如何に效果を齎すやは今更贅言を要せざる所にして今年度に於て員林六十五號蓬萊種の精選調製乾燥の向上と共に一方內地市場に對する宣傳の效果が如何に大であつたかを見れば思半に過ぐるものがある、即ち中蔗變蓬萊の如きは一般北部蓬萊米に比し約三十錢の高値を持し…

石拔實行宣傳の效果の豫想

朝鮮米は內地に於て石拔米と否らざるものとの間に百斤約二十錢の開きありと云ふ本島米に石拔を實行したる場合果して幾何程度の値開きを生ずるかは最も興味ある問題にして又仕入業者の…

高雄に落成した

液化炭酸工場

淸涼飲料に、青果魚肉輸送に

將た消火に用途廣汎なカーボンアイス

兼て世人の注目を惹き喉む的であつた高雄多木合名の液化炭酸工場は最近漸く落成して去る十日公試運轉を了へ愈々作業を開始する段取りとなつた、何分

尖端的化學工業であり內地在來の工場に無き新設備等多大の苦心を重ねたので落成も豫定より遲延したわけであるが我國に於ける新工業として新文化的新味ある企業としての前途に上ることになつたのは將來したければならぬ、元來液化炭酸を製造するには諸出炭酸より炭酸瓦斯分離法、コークス燃燒に依る炭酸瓦斯採取法、アルコールより發出する炭酸瓦斯採取法等種々あるが、何れも臭氣及雜味多く且つ

刺戟性等の點がある爲め淸涼飲料用として需要者に充分なる滿足を與へ得なかつたが、同社工場では之等の缺點を補ふべく最新なる方法として同社が過去二十五年來全島各製糖會社に供給を續けて來た燐化石灰の原料たる炭酸石灰石の採掘の際に發生するマーブル瓦斯を採用し精製したるもので絶對無臭而も刺戟性强く純度の高い液化炭酸を製出するのであつてその用途も從つて廣汎であるが就中

淸涼飲料水製造業者に非常なる期待を抱かしめて居るほどその製品の優良なることが豫想されて居る右の外、油、酒精等の發火の場合その消火は水では絶對に駄目であるが液化炭酸應用の消火方法は呆氣もなく鎭火の目的を遂する事が出來る、內地大都市の消防署にはケミカルポンプが裝備されて居るが、これは液化炭酸瓦斯の應用であるその利用範圍は殆ど無限と云つても過言でなく

文化の向上と共に利用の途益々擴大すべく今後に一々枚擧するに遑がない、尙本島では防臭殺菌劑ち冷房裝置は稍非せられて居るが歐米先進國の實例から推して此の方面に於ける液化炭酸瓦斯の利用は近き將來に且つ甚大に起るは必然的であらう次に本島に於てカーボン・アイス（ドライ・アイスと異名同物）の商業的に登場したのは昨年八月高雄青果同業組合の手で東京ドライ・アイス會社の製品を取寄せ共箱嬰並びに

高濱線に於て實驗的に芭蕉の輸送に試みられしを嚆矢とするが惜むらくは此の實驗も殆ど失敗に終つたことは一寸本島に於けるドライ・アイス熱を冷息さした感がある、併し實上傳ふるところでは此の實驗は所謂操縱手も用ゐ方に於ては誤となる所謂にて殊に高濱線の實驗ではドライ・アイスが多過ぎた由である、今後地元に於て安價にカーボンアイスが供給されるからには又改めて青果の輸送試驗が行はれるであらうが青果以外、遠距離の

魚肉類輸送に此のカーボン・アイスを利用することは正に理想的である

糖價騰貴と甘蔗の買收價格

製糖會社の言分

最近の糖價騰貴では島內にも相當衝動を與へ原料代の低額を云々されて居るが南部地方殊に高雄州下の蔗作を見るのに現況は昨年の前借金なり肥料代前借なりで植付を終つて今後の成行きを待つだけの金融が付いて居るからでもあらう、實際に原料代の低額を唱へて不平がるのは寧ろ地主階級の側がある相場糖價騰貴の現在だけから言へば本期原料代は安いとも言へるが然し製糖業者に言はせると

一年半後に使用する原料代の買收價格を締結するのにどうして契約後の騰貴とか、亦反對に下落とかの豫想が付から、勢ひ止むを得ず當時の他作物との比較を標準にしなければならない、一般原料買收契約は八年前までは植付の時でなく一年なり一年後收穫近い時に價格を極めたものです此れは製糖業者にも蔗作者にも糖價の騰何に依つてその都度定めるのが雙方に利益があつたそれを當時臺中州林本源製糖事件とも云はれた〇〇組合等の騷動から一年半も先きの物を買ふのに値段を決めないで契約するのは不法だ、と云ふのに內地新聞の人なども共れを鼓吹みにして其れは尤もな次第だと云ふので總督府でも植付前に改めたのです、然し値段を決めないで品物を買ふといふ斯何に妙に聞きますが併し…が御用聞きに來る、何々何斤、何々を何個と註文して時に一々値を決めるんでなく各家庭では買つて居る向きもありますやうに一年半先きの原料なので値段の決め方に迷ふ譯であつたが、督府からの達しで價付の騰貴を價格を發表契約すると云ふ事になつて八年目、途中で糖價が騰貴したからとておいそれと原料代を云々されたのではネとあるが此れも理屈であれ、今度しく糖價が騰貴したからといつて契約濟の原料代を云々するのは常を得ないやうである、人情の上からは農民の言分にも無理からぬところがあるにしても幸ひ高雄州下は農民が不然と郡が付いて居る、其筋で製糖業者もより特殊して配當の多いのを望むやうな事なく社內を整理改良してゆくべきであらうと蔗作大地主の一人は談じて居た

マルキン醬油景品付特賣

家庭會の一手販賣に係るマルキン醬油は去る十日から景品付特賣を開始した景品は樽詰二リットル壜一本に付一本、並樽一樽に…大樽十樽…に高級自轉車…景品を提供することになつてゐる

輝く日章旗！感激の君が代

優勝の刹那

◇米國棒高飛の牙城は搖ぐ
◇病友を抱いて聞く最初の君が代
◇熱火相搏つ世界的大接戰
◇輝くオール日章旗！
◇老將依然として強し
◇世界制覇は見事に完成

滑稽諧謔小說傑作集
◇オルカの與四郎
◇爆彈孃
◇新婚手紙騷動

明治大帝
◇乃木大將の逸話
◇怪傑サハロフ

新作長篇　義理人情　現代長篇
萬壽果の戀
萬太郎暴風雨
女人に榮あれ

時局小說
張學良
安達謙藏
第四十三潛水艦の遭難實記

隱密七生記　吉川英治
蒼穹の門　牧逸馬
鶉籠　市島園城寺健
青春狂想曲　佐々木邦
大奇士主　下村悅夫

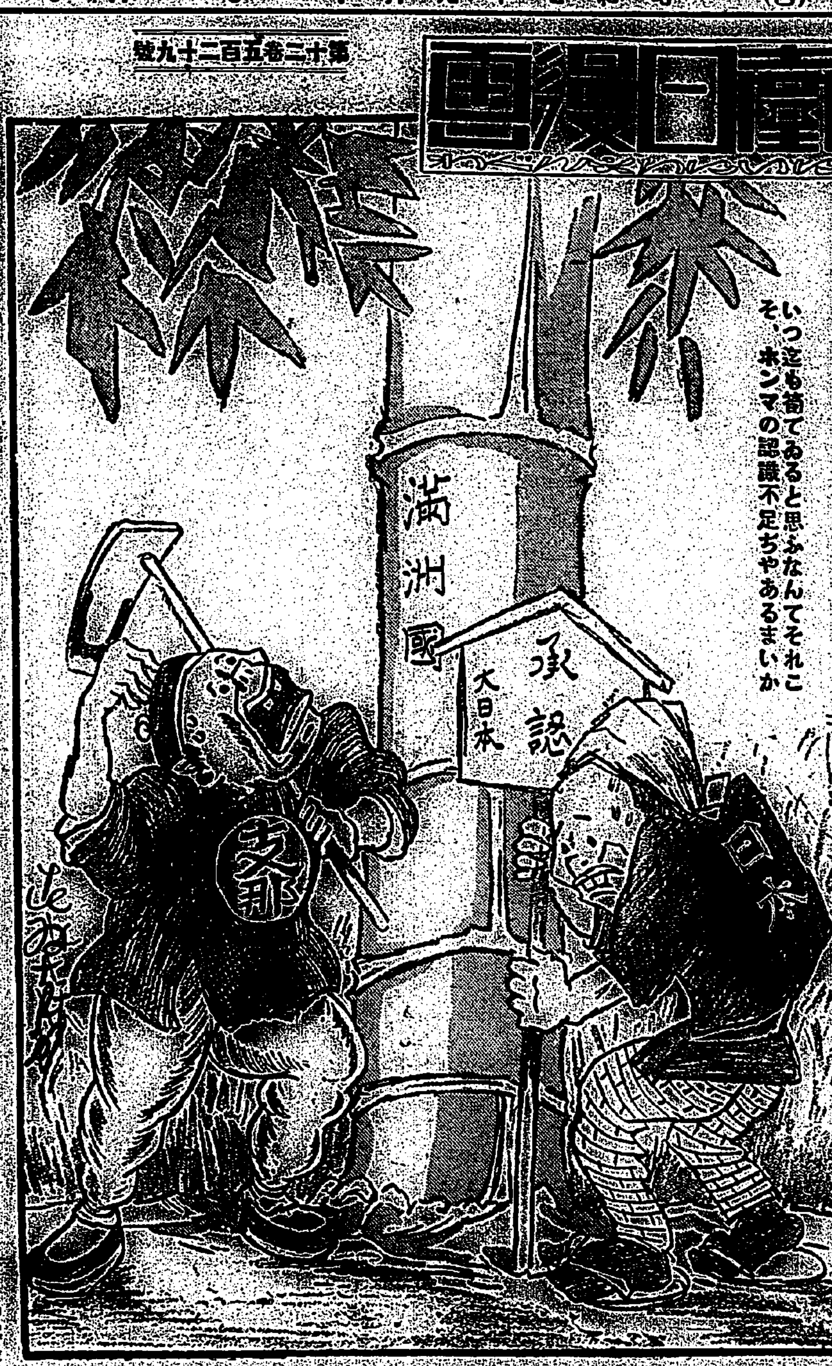
躍る白骨

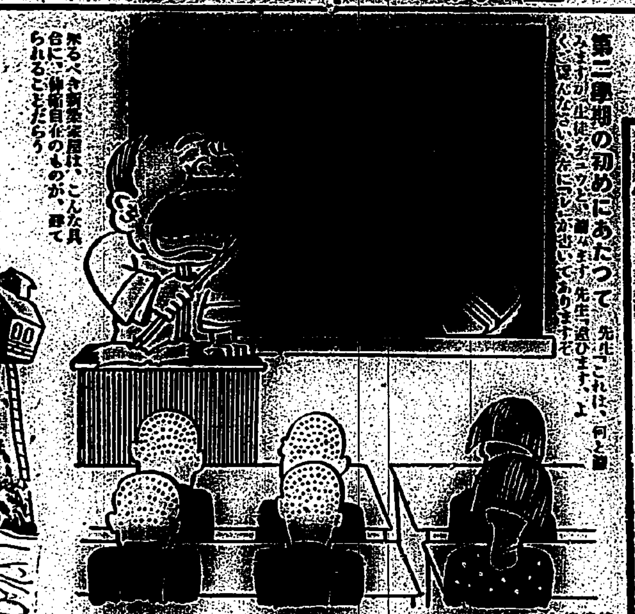
朝日

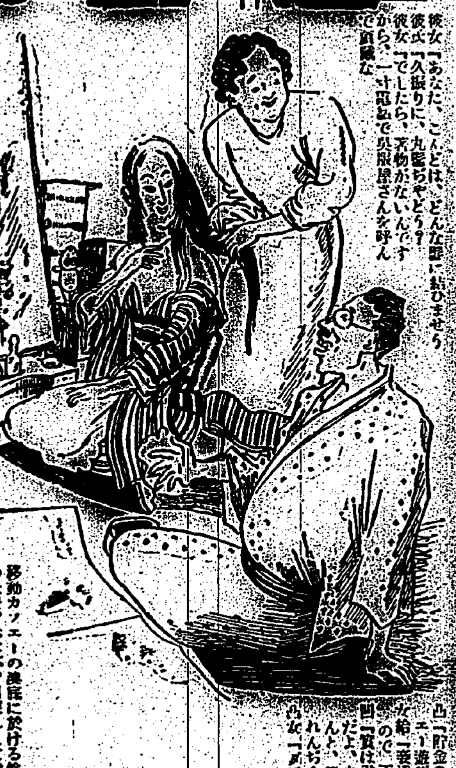
一册五十錢

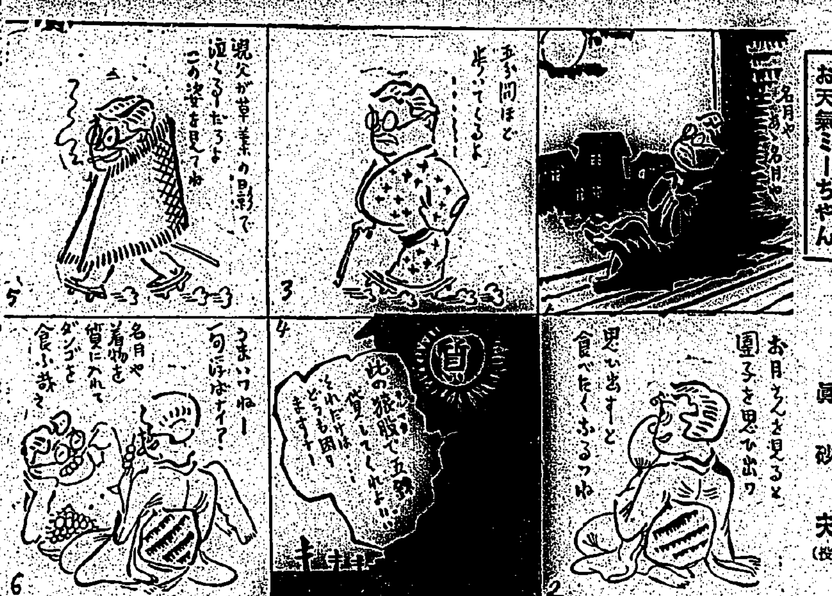
臺日漫畫

第十二卷五百二十九號









律敦卿報告內容
聯盟方面頗不滿

九日滬府電。九日東京電報。稱律敦卿報告內容。調査團雖反對滿洲國爲日本保護領。或爲合併。然復歸事變前之情態。認爲不可能。實質上滿洲國存立。聯盟頗感意外。殊如事務局員某國人等。明々不滿足。恐係律敦卿訪問內田外相。提示妥協案前後之會談內容。不信律敦報告結論如是也。

匪賊襲擊大石橋
激戰後擊退之

十日大連電。九日午前零時半。約三百之匪賊。襲擊大石橋。侵入市內中央部。向守備隊。從四方吹奏喇叭。大與喊聲。內海之。葛目少佐所指揮守備隊。及憲兵隊出動。交戰一時間後擊退之。此戰鬪步兵第二隊田中大尉。上等兵堀切治郎兩名重傷。又午前一時半頃。大石橋水源地附近。滿鐵上行本線破壞。較由救援隊便乘。列車脫線顛覆。無死傷者。

臺南市區改正續聞
將稟請津貼

臺南市市區改正。豫定於明年度施行者。元欲自西門町五丁目之小公園。經臺南刑務所西側。至通葬儀堂出大路之處。欲擴潤其道路。再由月見堂橋附近至大東門。欲開鑿一新道。迨高等工業東側之路第因州當局便宜上。今回乃變更該豫定線。將月見堂橋附近至大東門一線除外。另自第二聯隊兵營接北側現在之道路擴張。並沿兵營東側之道路新設。現急於設計。近將對督府稟請津貼云。

烏溪護岸
三十萬圓
近將起工

臺中州下下茄苳方面。烏溪護岸工事。因日前水害同溪下流沿居々住民。對工事施行。嘆願從速。日前森州技師。視察現場。本年度豫算。三十萬圓以上。開工費中半額。屬苦力金。故彰化郡管內。鋼安貧民。極度期待實現云

岡山郡早田
設法殖產

岡山郡下水田。多爲看天田。故第二期水稻收後。除左營庄及楠梓庄一部以外。無法以耕。昭和二年以來。州當局有鑑及此。命派係員到其部落。實地調查分布土性。且掘田地三尺餘深。查其地層及地下水如何。結果認有利用可能性。乃著手計畫。作成具體案。督勵各庄以州計畫案爲準繩。進行獎勵自四年度起。著手施設試驗田如左。

一、綠肥試驗田。卽水稻收穫後耕鋤。種田菁爲肥料。改良土質輕鬆。以栽種地瓜。

二、客土試驗田。卽田園入砂。俾化爲圓。可能栽種地瓜。增加一期生產。

二、裡作獎勵田。卽表作收刈後。卽時耕鋤。打碎土塊。及施堆肥。以栽種地瓜。試驗結果。綠肥試驗田。成績不良。翌年刪除之。又客土試驗田。雖成績頗好。奈砂土運搬。除溪川附近以外者。工費過多。都不能諧。且雖普遍。雖續獎勵。至七年度至明年度。亦將解除。唯裡作獎勵田成績。較之客土田。幾分遜色。但其改良方法。僅施堆肥及勞力可得利用。農民必先自覺乃能普遍。不惡於閒生產。成績良者。明年度擬注力于此種獎勵本年度再詮衡耕作。適當者一、設六十五處所如左。

一、客土試驗田。岡山庄五。阿蓮庄十五。

二、裡作獎勵田。岡山庄八。燕巢庄十三。阿蓮庄十。路竹庄九。湖內庄三彌陀庄二。以上面積。均以二分爲標準。凡當選者各栽植生清油園。又早收期。田園滋氣未乾。以各庄技手。督勵栽種地瓜。者番高雄州農會。特印刷收支日記簿。配付于四年度以來耕作者。欲明其收支。對除利益幾何。一切調查云。

高州鰹鮪魚業不振
籌建加工工場
製造鮪油及漬罐詰

高雄州沿岸鮪漁業。每年漁獲額。約七八十萬圓。近年來魚價低落。若以鮮魚售出。難得和盤。州當局爲慮打開策。本年度豫算。計上鮪加工工場建設費六千餘圓。乘在哨船町州水產試驗場內。建設工場。按來月十日竣功。製造鮪油及漬罐詰。試賣于各方面。開拓販路。該製造能力。每日按二十箱。每箱入四十八罐。當地漁業界。頗注視其將來成績云

竹州下市郡
種豚檢查日程

新竹州下市郡。訂月十二日。至二十九日。將施種牡豚定期檢查。日程新竹市十二日。新竹郡下自十三日至十六日。中壢郡下自十七日至二十二日。桃園郡下自二十四日至二十七日。大溪郡下。自二十七日至二十八日。竹東郡下自十二日至十五日。竹南郡下。自十六日至十九日。苗栗郡下自二十日至二十六日。大湖郡自二十七日至二十九日。

紅毛漁組
第一次總會

此回新成立之新竹郡紅毛漁業組合第一次總會。去九日上午九時。由竹州水產會名越技手列席。開於同區公校。首由組合長。報告今後之籌施事業。次由組合員。對于漁業不振之打開策。各吐露意見。終則名越技手訓示。次移于懇談。當就漁具改良併共同購入方法。愼重審議然後散會。

灯謎奉教

▲臺北市建成町一丁目八十番地木春製木所。訂來十四日起三日間。設燈謎奉教。司猜者爲林傳成。傳修木兩氏。

▲臺北市內大稻埕町卽土地后阿片小賣所內同志。擬於舊曆中秋佳節。前後三天。欲懸燈謎。時間七時半起至十一時。希望一般往射。主稿者爲顏笏山氏以文虎任人弋射如左。

▲新竹市切磋吟社二週年紀念一場所新竹市西門內媽祖宮口一期日古曆八月十四日起至同月十六日止三日間。一時間午後六時半起。至十一時半爲止一主稿擬托張純甫氏。一贈品由主催者周伯達氏。源贈各社友斋附吟集一百部以爲永久紀念。

▲屏東街雪湖吟社同人。値此中秋佳節。爲鼓吹風雅起見。擬定來中秋夜起繼續三夜。假媽祖廟前。高懸文虎。任人弋射。

澎湖廳下西嶼庄。某盜〇〇工人。甲外五六。皆不良少年。時常侵入人家。欲調戲婦女。去月二十三夜。被庄民所打。自取其辱也。（高代表憤慨）

州市街庄協。任期將屆。無資格者切勿暗中託人運動。虛榮不可久也。余有一聯求對。對得好者。便有資格。沙上鷗閑。家伙了。秀才無〇無冠無恩。（沙鹿老翁）

貴我妝多子傍死父。對我人無大猪何如。（淡水狂士）

不留庄內子頂某中之家。時常設賭。以某中爲讓才符。月得金二十圓。可惡也（官吏刺客）

瑞芳
博士來遊

帝大教授漢詩人久保天隨博士。于九日午前九時四十三分瑞芳驛之列車抵驛。卽往訪劉助役及李建興詩家。是日値瑞芳庄行政事務監查最終日。乃與安詮院郡守。北島庶務課長。牛越庄長面會。午後一行。赴瑞芳海水浴場及金瓜石。洞宜寄。搭同四時四十三分瑞芳驛發北上。

周旋肥料

瑞芳庄當局。者番羅其農村不況。周浚家畜施肥料。爲是向州農會交涉。卽明年度早期作之肥料購買資金。希望者至來十六日。須向當庄役場保證聞之也。

新竹
詐婦被拘

新竹市前布埔某金銀匠之妻鄭氏扇。年四十九。與臺北市人葉文壯交誼。去七月二十五日。該扮同市東門菜販賢業者某甲之長女。搆了罪蹤。吳氏笑遊爲娼。騙取身價金二百五十八圓。八日被女父提出告訴。卽由新竹警察署。查出實情。去九日將鄭氏扇。拘留調查中。

醉漢被拘

新竹醫院炊事夫何欽樹。前夜因偵該部宴客。招其友人蔡某卽東門魚新鋪店主。到部幇忙。至撤宴。兩人再開酒看共飮。醉後竟揮拳毆傷。兩人負重傷。被巡邏巡查拘去。留置一夜。而察念及友情。反念向同署懇請釋放欽樹。

臺南
定期召集

臺南署。去九日午前六時。於臺南公園廣場。舉定期召集。全署員集定後。由小山署長指揮下。分爲大。中。小三隊。教練後。舉分列式。以孔子廟爲中心。後移于該處。有署長之講評。八時頃解散。

文昌秋祭

臺南市高砂町五文昌廟。本年秋季大祭。去十一日。由樂局以成社董東林天定氏。籌備一切。以午前十時舉祭。十二時頃式終。

會事

▲新竹州第一回茶菜技術員日習會。訂來十四日上八時。由郡內務部長。於輪湖技師栗科技手等臨場。在關西公會堂。舉發會式。

▲羅東街教化聯合會。去十日午後一時。在羅東公會堂。開生活改善講習會。是日有女子青年團員及各官公衙職員之婦人等多數出席。講師卽營養研究所技師利吉氏。以無料對會員。教以合理的之炊事法。

人事

▲本社鹽水通信員陳生仙君之

小說
紋生

四川峨嵋山西有月山。名勝。險其高也。山上多桃。實甜而味美鄉人盛傳。終身食之者可成仙昔峨嵋長老。於到成之役。常登一之亭受者。山距峨嵋甚近。立。高不易攀。而猴猿謎爲惟故有諺曰。月登山一桃。雖不成仙。亦足延壽耄年。因山崖陡桃。以解煩渴。某年春。長老登毅山。於崖間見二四五歲之孤見獨坐。雙手捧桃。且食且啼。異之。以山中絕少人跡。更無人攜幼兒登山也。乃於唶中窺伺。日將午。迄無人至。見食桃畢。復餘其核。弄玩弄不忍棄。逐亦覺渾液滿頰。乃登山飽餐之。並摘數枚。復返崖間。見見方啼。忽二桃墜見側。見得食笑乃止。細察桃自來。見崎壁高可三丈。一猿隱牙樹間。而見注視。長老必見爲猿所養。欲攜之去。顧視所在處。無路可通。繞行半日皆懸崖峭石。僅一蹊徑可行。始至。見坐處則僅可方丈。亦未知其所由至。見見長老。躁前抱其足。狀極親愛。問之見。多不能答。乃負之返峨嵋府小育之。名曰毅生。見毅日奔馳前後。猶上攀石頭爲嬉。除一日三餐外。不爲人累。期年行不漸運。長老乃稍束約束。每飯食可收。見亦隱爲之。因教以夜擊。見殊聰穎。每有所授未嘗或忘。又年餘。嵩莽偷姊長老出遊。必與之偕。見步履健。日往返六七十里。晏如也久之亦能登毅山之巔。採桃以其長大必能穿白雲而上之也。毅生十歲許。長於林中。以樹枝擊飛鳥。百發百中。長老知之因爲製箭一壺。凡百枝。鐫號於上。長尺許。細如莢。不假弓弩。以指發之。遠可五十步。見十五歲時。承師命。出川入蜀。適正定某宜官返里。並乘阿堅。至正定。夜入宜人家。而宜告以故。官陰拒之。毅生乃夜訪阿堅。傳長老之命遂留爲別宜。二人私議。以祭京爲北方勝地。因乘被北上。至保定。入迦莊。分室而居。店主固強盜者。與阿堅之輩。狀毅生幼。欲殺之而佔堅。夜半盜。四五破門入家。阿堅向昇息靜坐。急開後窗而遁。毅生於暗中問被執。乘進不備猛脫其腕。拐手仆其一。阿堅亦返奪盜刀剌之。均負傷遁。二人恐官究其事。乃整裝逐去竊京都之遊。馳返峨嵋。後承師命。結為夫婦。結廬毅山。年三十左右。遨遊山川。數至京都。雁類且多。於是。白雲紅裨之名大喧。習技擊者。無不點附之云。

SANTE

肺結核の革命的治療藥

臨床大家六十餘博士　實驗推奬
官公私立大病院療養所　御採用

サンテ

結核は不治に非ず、治すに道あり

「結核は不治なり」とは云ひ古されたる言葉であるが、醫學の進歩しない時代のその觀念が今に於てなほ相當有力に人々の腦裡に存して、近代的教育を受けた若い人々の間に於てさへ、漠然と然し可なり根强く印象付けられてゐる事は實に慨はしい事である。

この不可解なる理由なき觀念が、どれほど結核治療上の障害になつてゐるか知れない。結核病即ち死の宣告であるかの如き誤まれる觀念に支配されて、治るべき肺病を惜しげもなく諦めて自暴自棄に陷る人の如何に多き事か――

結核は斷じて不治では無い。寧ろ或る條件の下に於て最も治し易き病である。

その條件とは何か？

即ち「殺菌と排毒」これである。

然るに、世に行はれてゐる結核藥は多くはこの根本的條件を忘れて仕舞つてゐる。專ら結核毒素の中毒作用として現はれ來る發熱、盜汗、血痰、咳嗽、食思不振、頭痛、心悸亢進、下痢等の表面的症狀に對してのみ之を沈靜せんと力を注いでゐるに過ぎない樣に思はれる。

これでは、百年河淸を待つが如く、たとへ一時的に症候が消退しても、病菌に對する根本的處置をおろそかにしてゐる限り何時まで待つても病氣そのものゝ治癒は望まれない道理で、その治療は「邪道を走れる結核治療」と云はねばならないのである。

邪道を走る治療に依つて病の轉歸を誤まつても、それは藥の罪では無い――結核藥に就ての認識が足らず、正道と邪道との區別に徹底を缺き、療病方針の確立を誤まつた人の當然の運命である。

若し、その悲しむべき運命に陷つた人がありとすれば、吾人はその人に同情の涙を灑ぐ前に、「治療は必ず正道に立歸れ、今日唯今からでも決して遲くはない」と切に勸告したいと思ふ。

「サンテ」は飽くまで「殺菌と排毒」の學理に立脚して結核治療の正道をまつしぐらに直進する革命兒である。

發賣して日は淺いが、山間の古沼の如く沈滯せる結核治療界に潑溂たる生氣を與へ回春の光明を投げたる功は、蓋し沒すべからざるもので、實驗的にその根本治療藥たる事が着々證明せられつゝある事は、「サンテ」の價値に千鈞の重みを加ふるものである。

現に臨床大家六十餘博士から實驗推奬を蒙つてゐるが、短日月に斯くも多數の權威者から推奬を受けた事は結核藥の歷史に未だ曾て無い事である。

官公私立大病院療養所に於ける御使用量が日に月に激增しつゝある事も、「サンテ」の効果を最も雄辯に物語る事實である。

「サンテ」の効果の手近な證明は、實驗せられた各博士の報告書に見る事が出來る。

―食慾大いに增進し、健康時と同量の食餌を攝るに至る
―發熱去り、平溫となる
―ねあせ止み、夜間安眠する事を得
―咳嗽鎭まり、血痰止み、呼吸輕快す
―胸痛去り、頭痛、全身倦怠を感せす
―肩こり、全身異和感去り、元氣振起す
―ラッセル消失し下痢頓挫す

斯くの如き著明な症狀の減退が、「サンテ」の服用後、早きは四五日おそくも一週間目頃からメキ〳〵と現はれ來る事屢々であつて、患者の氣分は、不快なる症狀の日增しに消失し行くに從ひ、益々明るく輕快となり、體重も增加し、步一步全快への堅實な步みを進めて行くので各博士とも非常な喜びを以てその結果を報告せられてゐる。

單なる症狀の鎭靜劑であつてもこの樣に速かに安全に奏効を見るのは稀である。まして、僅かに一劑にて、斯くも多數の症狀を一擧にして消失せしめ得るのは、即ち「サンテ」が、病の本源を爲す病竈に直ぐ樣作用して忽ち殺菌排毒の効果を現はす獨特の藥劑なればこそであつて、斯くてこそ始めて本當の治癒がそこに期待出來得るのである。

なほ、本劑が、服用極めて安易安全であつて、過敏性の婦人や小兒も悦んで之を服用し得る事、又少しも副作用習慣作用なく安心して持長せしめ得る事、及び、本劑のほかに下熱劑や其他の症狀鎭靜劑を併用する必要は更になく（併用する事は妨げなけれどもその必要なし）唯一劑のみにて十分各種の効果を同時に現はす故、從つて頗る經濟的なる事など、各博士の一致して推奬せらるゝ所である。

結核治療に榮養補給の必要なるは言を俟たざる所であるが、高價なる榮養劑、高級なる滋養品が必ずしも最良の榮養を齎すものではない。又、何程巧みに造られてあつても、結局人工榮養品は天產品の滋養には遠く及ばないものである。あれこれと滋養劑などを濫用して經濟的に苦しむよりは、要は「サンテ」に依り正常なる食慾を催進せしめて、何でも好きなものをうまく食ふといふ事が最良の榮養を計る道である事に氣付くべきである。

「サンテ」とは、フランス語にて〈健康〉を意味する言葉なり

◎先づ文獻に依りて諸博士推奬の聲を聽け

文獻（實驗報告書）送呈

藤澤博士並に諸博士がサンテを結核性疾患の治療に應用されたる成績報告書及び「療養指針書」を御申越次第送呈す

「サンテ」には三種の別ありて各病狀に適合す

【適應症】肺結核、肺浸潤、肺尖加答兒、肺氣腫、慢性氣管支加答兒、肺炎、濕性並に乾性肋膜炎、結核性腹膜炎、喉頭結核、淋巴腺結核、腸結核、結核性下痢、肺門淋巴腺腫脹、脊椎カリエス、瘰癧、骨並に關節結核、結核性並に腺病性眼疾

【種類】「サンテ」一號＝有熱期に適す
「サンテ」二號＝無熱期に適す
「サンテ」三號＝前記各適應症の恢復期並に結核性體質、腺病質、虛弱質、榮養不良に適す

【藥價】「サンテ」一號　一二〇錠 二圓八十錢　三六〇錠 八圓十錢
「サンテ」二號　一二〇錠 二圓八十錢　三六〇錠 八圓十錢
「サンテ」三號　一二〇錠 二圓五十錢　三六〇錠 七圓十錢

◎別に醫家調劑用粉末あり（容量　一〇〇瓦　二五〇瓦　五〇〇瓦）

御注文方法
◎御注文の際は必ず「サンテ」何號と御明記の事
◎御送金は振替貯金（大阪三五七番）御拂込か、又は郵便爲替御利用か御便利、前金の御注文には送料を要せず
◎代金引換便ならば御注文主にて送料御負擔の事

各地著名藥店及び百貨店藥品部にて取次せらる

參天堂株式會社學術部

大阪市東區北濱一丁目　振替貯金大阪三五七番

ST60

—今日の番組—

J・F・A・K 九月十二日(月)

午前の部

【六・〇〇】朝の體操△ラヂオ體操△今日のお天氣のお知らせ(臺北測候所發表)
【八・〇〇】今日の氣象通報(東京)
【九・三〇】家庭講座[illegible]
【一〇・〇〇】今日の家庭料理獻立

午後の部

【一一・〇〇】日用品小賣相場(臺北市西門市場發表、臺南市西市場發表)
【一一・五九】正午の時報△氣象通報(臺北のみ)臺北測候所發表
【〇・一〇】放送局編輯ニュース
【〇・二〇】晝間娯樂時間(レコード演奏)新民謡 一、長崎行進曲(小川作)二、長崎新小唄 大和田きく 三、松山小唄(堀内居榮甫)四、西の松山(堀内居榮甫)五、鹿兒島民謡(太田原)六、櫻島小唄(野上靜子)七、飯塚新小唄(飯塚檢番)八、飯坂行進曲(小川洋)
【一・〇〇】氣象通報(臺南のみ)臺南測候所發表
【六・三〇】特別講演(臺北のみ)「釋放者保護日を迎へて」臺灣總督府文教局長 安武直夫
【六・三〇】子供の時間(臺南のみ)レコードドラマ「二郎の母」椎名龍德作、梅澤和親脚色 梅澤和親一黨

夜間の部

【七・〇〇】記念講演「乃木將軍の母堂並に夫人靜子刀自の事に就ての二三面」臺灣神社宮司 山口透
【七・三〇】演藝(東京)「團十郎三十年記念放送」
【八・三〇】講談 森永ミルク・キャラメル、森永ミルク・チヨコレート製造元森永製菓株式會社提供「楠公と泣男佐兵衛」邑井貞吉
【九・〇〇】連續講談(森永ミルク・キャラメル、森永ミルク・チヨコレート製造元森永製菓株式會社提供)「甲斐勇吉」第三席 邑井貞吉
【九・三〇】時報△氣象通報(臺北測候所發表)△臺日ニュース△臺南新報ニュース(臺南のみ)△公示事項△明日のプログラム發表

讀切講談

楠公と泣男佐兵衛

—午後八・三〇—【臺北】

(森永製菓株式會社提供) 邑井貞吉

楠公が赤坂城に立こもつた時一騎當千の者あるものは悉く召抱へると云ふ制札を出した、すると河内の杉本佐兵衛といふ如何なる人をも泣かすといふ人間が飛出した、これを聞いた法師武者の八尾別當といふ者が出て、この男はかつて泣いた事がないといふ男、その法師武者と泣男の手合せが此の讀切りである、さて如何なる手合せとなるか

連續講談

甲斐勇吉(第三席)

—午後九時より—臺北—

(森永製菓株式會社提供) 邑井貞吉

[illegible]

特別講演

釋放者保護日を迎へて

【午後六時三十分】—臺北のみ—

臺灣總督府文教局長 安武直夫

(寫眞は安武氏)

明十三日は全國的に行はれる釋放者保護日である、不幸法にふれて再び社會に戻はれた時、社會の白い眼によつて又も法に觸るるが如き不幸を防止する爲めには社會人の温かなる助けがなければならぬ、此の日を迎へて安武局長の特別講演である

演藝【午後七・三〇】—東京—

不世出の名優 團十郎卅年記念祭

放送舞臺劇

—歌舞伎座より中繼—

不世出の名優九代目市川團十郎逝いて本日は三十年である、此の日を記念して歌舞伎座よりの中繼放送であるが内容に就ては未だ通知がないので詳細は得ないのは遺憾である、たゞ此の中繼は既に七時に開始されてゐるので、途中からこれを中繼する

記念講演【午後七時】—臺北—

乃木將軍の母堂並に靜子夫人の事蹟に就て

臺灣神社宮司 山口透

乃木將軍殉死されてより明日は二十年である、此の際に山口宮司が乃木將軍の母堂と靜子夫人の事蹟に就て放送される事になつた、山口宮司と乃木將軍とはつとに親交あり、今度の話は明治二十八年一

晝間娯樂時間(臺北のみ)

【午後零時二十分】

新民謡

一、長崎行進曲

長崎日日新聞の懸賞當選歌で堀田三郎氏の作詞を佐々木[illegible]氏の作曲、唄は小川洋氏である

一、沖は入船出船は出船 船は波止とは五色のテープ 神戸上海一またぎ

二、暮夕風ゆき淡け浮に 鐘は天主堂[illegible]の祈り 赤い山手の異人館

二、長崎新小唄

これは江口三氏の作詞に[illegible]井清水氏作曲、うたは大和田きくさん なかの別れかヨウ出島のはなに出船の唄ソラエ身にしみる

二、サンタマリアのヨウ鐘なる丘にきられ涙かよソラエ流れ飛ぶ

三、松山小唄

富田[illegible]氏作詞で作曲は山崎[illegible]氏、唄は堀内居榮甫さん きくも嬉しあの城山にや 昔ゆかしの天守閣 伊豫の松山ヨイトサノセ ほんに名どころ歌どころ

四、西の松山

作詞作曲、唄もみな前と同じ 伊豫の松山美喜の國と昔や呼ばれて呼んだとこ 月も静けてかあの寶嚴寺 夜にほんのり紅そめて

五、鹿兒島民謡

太田勝氏の新唄で壬生[illegible]氏の作詞、作曲は安東政一氏の作曲である 紅つつじ、躑躅えたつ城山の 德ご昔の夕嵐、香ぐや櫻島しぐれ

六、櫻島小唄

島田芳文氏の作詞に安東政一氏が作曲したもので野上靜子さんの獨唱である

一、わたしや櫻島 日の干島 主は城山 三日月様よ 背にちらりと 出たばかり

二、霧島櫻島 よかとこ島よ 一度おじやれよ ランチも通ふ 櫻島が恐れたら またおじやれ

七、飯塚新小唄

飯塚の楠さんの唄で、田中よひ二氏作詞木下[illegible]夫氏作曲である 飯塚よいとこ 四季さまざまに さんざ色めく 桜の花の まつりかヨカ〳〵ヨカトコタイ

八、飯塚行進曲

子供の時間(臺南のみ)

【午後六時三十分】

月はじめ乃木夫人が保典、希典の二兒を伴つて伊勢参宮の時、途中で[illegible]せられし事、並に明治二十九年母堂壽子刀自が御病氣になりし事などである

レコード・ドラマ

二郎の母 椎名龍德原作 梅澤和親脚色

配役

母平村はま 梅澤アキ子
次男二郎 梅澤信義
長女花子 梅澤マリ子
叔父倉田 椎名先生 梅澤和親

晝間娯樂時間(臺北のみ)

【午後零時二十分】

洋氏 作詞作曲は前同様で、獨唱は小川洋氏 ドンと打揚ぐ川びらき 火の花火 水もさかれる エンソレ人の渦

ねぢのない人形(下)

—經濟的自覺なき女性の沒落—

武村敏

嬢き者よ—この語を以て、女性のシノニムとした時代は、もう早遠い過去だ、その過去であるべき嬢き者なる言葉を何故彼女は頭ひかぶらせられたか、今日の女性は、清新で、自由で—(解放と云ふ意味ではない)要約として—だがしかしこの過去故に今の問題かひをつづけなければならぬ人もある。—要するに、ブルジョアの家庭なればと云ふ事でなしに—あらゆる近代的生活機構に於て、女性は明日を約束して出發しなければならない

○—○

それだのに—彼女の家庭は、例へば親父が免職され、兄が高等學校を退校されたと云ふやうな出來事があつても、それが何が故に然うした運命まで來た事の經路を考へしむ—やうな状態に置かれてゐるでしまいか—教師が、家庭にむかつて、秘密主義でこれまで來てゐた事を非難してゐるやうであるが何故、かかることになるまで知らずにゐた事か、非難はしてゐるが新聞に發表した家庭の對策を見るとき、或る意味に於てはその事に就て、是認してゐるやうに思へる

○—○

是認して、そして非難することは一應何を以つて家庭教育を考へてゐるのか、これは、プチブル、インテリゲンチアの持つ、共通せる決して強い意識ではない、要するに女性への教育が、ブルジョア・イドローグの方針に基礎づけられた中に、かかる男性へのよき伴侶と服從者となるやうな方針を家庭生活にも植つけられたものが、たまたま、いろ〳〵な形式を以つてゐる多感な彼女への反動がかうした結果におち入らしめたとも一方では云へやう、かうした事は決して、彼女を弱者に導くものでない。明らかに敗殘者の運命を負ひ、深い沼堅の中に突入させるものである

○—○

—さて、私はかうしたことによつて、大ざつぱな見解をなげたがこれは決して彼女、山崎てる子と荻原敬輪の一般的批評ではない。たまたま私の云はんとするところの女性の現代社會に對する思想的階級の不足の中に於て事實の問題として取りあげたまでである——女性が感情へ訴へる、好奇的であるなどと云ふ點が一部の人達にあつても、一般的にすぐ〳〵當はれてゐないと云ふことを云ひたかつたのである。感情は女性の美點であると同じく、また缺點である。正確にものを把握するかぎりに於ては未だ[illegible]

でタツチすることによつて、現實的な變化に觸れ易いので、思想的にもつねに動搖をまぬかれない—かゝる結果が、女性を不利の立場に常に置かしめる。さうした事を克服することが現代社會機構に生きる女性の武器ではあるまいか—と、インテリゲンチヤは常に云ふ。けれども强靭な思想のもとに生きるものは強い。それは、プチ・ブル的な、一切の問題を消却して、突きぬくことだ、私はこれによき適例を知つてゐる(紙面がないので述べられぬ)

○—○

嫌に—山崎てる子彼女は、文學的才能の所有者だときく、文學がこの世紀に於て、ブルジョア・イドローグのもとに從らに追從する所有者だと決して云へない。分に使用される事は或る文學的才能の所有者だと決して云へない。私は飛を暗くに從つてより健全なより積極的な、イドローグと强靭な力を要求する。それは女性の明日への發展でなくて、今日その悲劇の進展であると信じてゐるからだ(了)

曙光 (102)

生方敏郎作 中野修二畫

浮氣と貞操(二)

春田はいつしか得意になつて、彼の持論であるところの男女の[illegible]操の權利を詳述してゐるのを、澄江は果して理解したか何うかさへ考へずに、自分で自分の理想に[illegible]

醉してゐた。澄江は、それを大人しく聞いてゐたが、

「では、女もやつぱり御飯もお汁粉も一緒に食べても、差支へないことね。」と、霰硬な彈丸を打ち込んで來た。

すると、春田は微笑して。

「いや、僕のいつたのは、男性の場合のことなんだ。女性の場合は多少の中へ入れてなかつた……さうだね、原則としては男性も女性だとはいへるが……併し、また女性と男性とは、その國に依り時代に從つて各コンデイシヨンが違ふからね。男性に許されてることが、すぐ持つて來て女性に當はめるつてことは、出來ないよ。女が經濟的に男に扶養される事を常識としてゐる日本のやうな國では女は貞操を良人の爲めに守るべきだ、法律とか道徳とかいふもので縛しないでも女性自ら進んで貞淑であるべき心意氣といふものだらうよ。」

「ずゐぶん日本の男は、勝手なのね。」

「ハテ、それが解らないかなあ……」

春田はそれ以上説明する張合がなかつた。

「女だつて、遊んで食べさせて貰へるんだつたら、それに代へられる心持を起すんでせうけれど、さもなかつたら、まさか、外國ならびに……」

春田も、この澄江の言葉はもつともだ、と思つた。そして、

「そりや、女性のために考へてみれば、實際官吏や會社員みたいなサラリーマンは別として、世間にある家庭—つまり農業だの小賣商みたいなところ、所謂夫婦共稼ぎといふのが、可成多い。また、サラリーマンの家庭だつて、女性は生産にこそ手をかさないが、炊事から着物の世話から子供の養育、その他家事一切を切つて廻すんだから、働きだけからいつたら女性は男子に劣らないのみか、土地に依つては女性の方が男子より働くところもある相だ。併し、僕のいふのは、それと違ふんだ。女性は男子と同樣な資産を持たない。財産權を所有しないつてことなのさ。働くにしても、生活を他人に頼らない限り、女性が置かれてある以上、男子と同樣な勝手なマネは出來ない、それは理屈ぢやあなくつて、實際問題なんだ。」

「ずゐぶん社會は不公平なのね。」

「不公平さうん、たしかに不公平だよ。」

と、いつたが、春田にもうそんな議論は面白くなくなつたので、

「おい、もう行かないと遅くなるよ。」

「ああ、さあ出掛けやう。お前も一緒に行く？」

と、突つて起ち上つた。

澄江は、まだ鏡の前に行つて、額にかゝる髪をいじくり廻して、いか、今日は同じ東京へ歸るので、春田は昨日東京へ來て込んだ時の壯快がすむと、大森の宿を出た。何處となく愉快だつた。

澄江は相變らず黄の間に揃ひを敷いて、横になつてゐた。春田と澄江がそこへ通されても、彼は起き上らうともしなかつた。

その顏の悪さうなのを見て澄江は

「お加減はその後如何ですの？」

ときいた。辻は顏をしかめて、

「昨日から、痛みが強くつて閉口してるます。」

「それや、困つたね。」

と、春田は、彼の病氣が自分たちの事件にも影響のあるのを恐れた。

辻は、しかし、すぐ事件に就いて語り出した。

「あの娘で、澄江さんのお父さんへ宛て、お逢ひして談じ度いから直ぐ來るやうに電報を打つたところが、昨日こちらへ來るやうな返事があつて、待つてゐると夕刻になつて、北原といふのが母女の姉さんと云つた道子さんと、一しよにやつて來たよ。だから、僕は北原に「今度のことは直接澄江さんのお父さんと御相談し度い、と思つてその旨電報を打つたのに代理を寄こされたのでは困ると言つたら、お父さんは病氣で來られないから、二人が委任されて來たといつて、僕に委任状なんか出して見せたよ。」

▲話なかだち▲

貸家 千歳町二丁目市場元便利 求職一件一回 其他一回 名倍 電話五一〇番 [illegible]

貸間 警察官舎内[illegible]

讓店 格安早い勝 西門町二の六 [illegible]

ピアノ 格安賣る 電一〇七六 [illegible]

タイピスト 入用 京町一 [illegible]

小金融 保險 [illegible]

結婚調 [illegible]

結婚相談所 臺北市表町一ノ三二 [illegible]

恩給 [illegible]

論石メバツ 御化粧洗顔用

玄人は人を美しく見せやう! だがツバメ常用の美しい肌にはとても敵はない

會員 [illegible]

東京 日本自動車學校 新型入氣のフオード・新シボレー實習 [illegible]

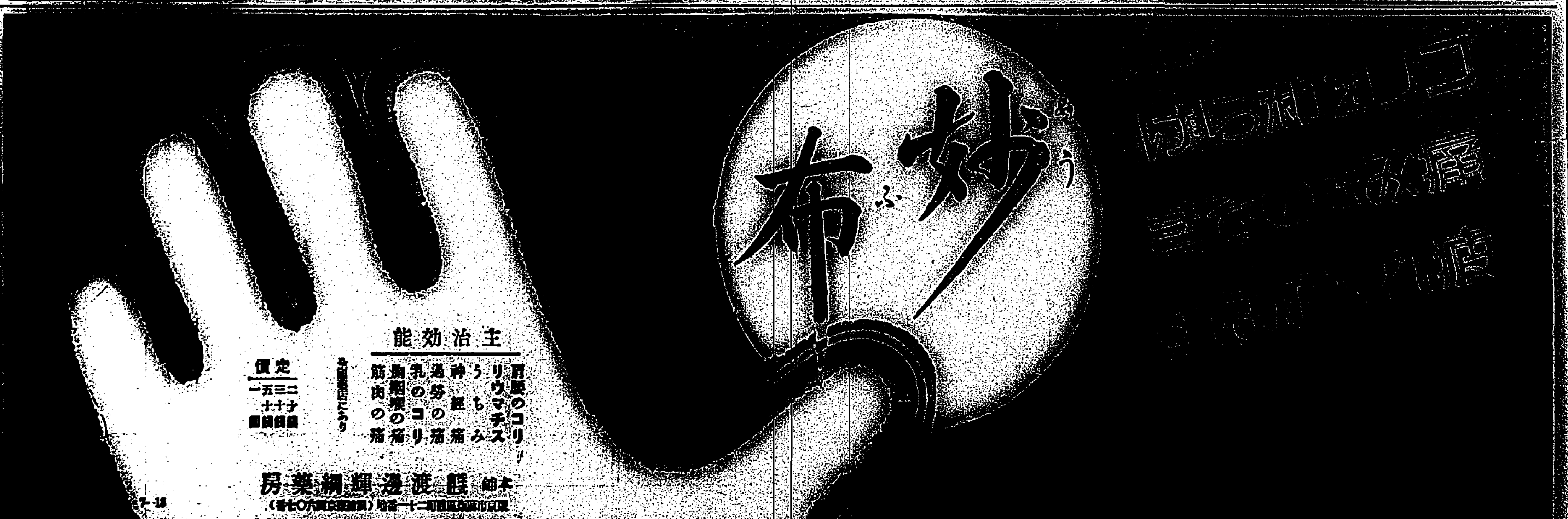
日本唯一 榮養雜誌 榮養の日本 九月版發賣中

特約販賣店募集 星印カーボライト 斷然百% 六大都市大百貨店實演販賣大好評の品 燃料の節約と時間の經濟と家事の助力と 不景氣時代には一つ使用して下さい 臺所の節約から 總販賣元 平野商店

廣告は宣傳の近道なり

藤澤の腋器製強力止血劑 トロムボゲン 喀血 喀血の手當 一、まづ絕對安靜にする 一、精神をおちつかせて 一、トロムボゲン錠二個 一、一日三回頓服に用ふ 「喀血の原因と治療法」(中央公論社) 定價 内服用錠劑(二〇錠入 七〇)(二〇錠入 一、二〇)(五〇錠入 一、七〇)(一〇〇錠入 四、八〇) 他に皮下注射用・内服用散劑及粉末・撒布用粉末あり 藤澤友吉商店 大阪道修町 T19

マンジ堂の菓子 ウヰロー トリホロツ チヨコレート 汐ようかん マンジ堂製菓株式會社 大阪・東京 特約店 臺北 菊元 臺南 林 高雄 越智 文本店



妙布(めうふ) コリに痛みに 主治効能 肩腰のコリ リウマチス うちみ 神經痛 過勞の痛 乳のコリ 胸脇の痛 筋肉の痛 各地藥店にあり 定價 二十錢 三十錢 五十錢 一圓 本舗 鵜渡邊輝綱藥房

東鐵南部線顚覆
十一名即死す
我が豫備將校拉致さる

(ハルビン十一日發電通)ハルビン南方六十二キロ西屯附近に於ける東鐵南部線列車顚覆事件においては乘客十一名即死、三十一名負傷者を出した尚日本人豫備役將校一名は兵匪のため拉致された

旅客車脫線顚覆
百餘名死傷す
きのふハルビン南方の椿事

【ハルビン十一日發電通】十日午後九時四十五分ハルビン發新京行旅客列車第十一號はハルビンの南六十二キロの地點で十一日午前二時四十分頃脫線顚覆機關車諸共一、二等客車は木ッ葉微塵に粉碎され旅客百餘名死傷した深夜の事とて車內大混亂し附近鮮血に塗り名狀しがたき慘狀を呈した邪人の死傷も多數ある見込みである尚同列車には約六百名の旅客が乘車してゐる急報に依り今曉ハルビンより衞生隊救護班が現場に急行した

秋の野球リーグ戰
廿三日から神宮球場で擧行

【東京十一日發電通】早大の加盟に依つて人氣を回復した東京大學野球リーグ戰は來る二十三日から神宮球場に於て華々しく擧行されるので十日午後六時から神宮球場の一室でリーグ理事會を開きスケジュールその他を左の如く決定した

一、スケジュール

二十三日　早立一回戰
二十四日　同　二回戰
この試合が決勝戰にならなかつた場合には
二十五日　明慶一回戰
二十六日　同　二回戰
早立決勝戰になつた時は
二十七日　明慶一回戰
二十八日　同　二回戰
十月一日　帝法一回戰
二日　同　二回戰
五日　帝慶一回戰
六日　同　二回戰
八日　早法一回戰
九日　同　二回戰
十一日　立明一回戰
十二日　同　二回戰
十五日　法慶一回戰
十六日　同　二回戰
この試合決勝戰とならなかつた時は
十七日　立帝一回戰
十八日　同　二回戰
決勝戰となつた時は
十八日　立帝一回戰
十九日　同　二回戰
二十二日　法明一回戰
二十三日　同　二回戰
二十五日　早慶一回戰
二十六日　同　二回戰
二十九日　早帝一回戰
三十日　同　二回戰
十一月二日　立法一回戰
三日　同　二回戰
五日　早明一回戰
六日　同　二回戰
九日　明帝一回戰
十日　同　二回戰
十二日　立慶一回戰
十三日　同　二回戰

試合開始時間平日午後二時半、祭日、日曜午後二時、十月十五日以後平日も午後二時、審判員は左の如く決定した

淺田、長濱(法政)　野本、田村(帝大)　齋藤、片田(立教)　伊丹、森(早大)　三谷、森田(慶應)　橫澤(明大)明治は尙一名を增すに交涉中

各校のメンバーは二十五名を限度として來る二十日正午までに神宮球場に所定書式を提出する

秩父の宮樣
御下問を給ふ
平沼團長以下を召され

【東京十一日發電通】秩父宮殿下には羅府オリムピック選手がロサンゼルスにて華々しく活躍しスポーツ日本の名を世界に轟かした殊勳を御嘉賞の爲め平沼團長以下役員、織田、高石兩主將等を召され七日赤坂表町御殿に參殿、殿下には謁見所にて拜謁仰せ付けられ有難き御言葉を賜つた後織田、高石兩主將より約一時間半に亙り大會當時の状況を詳細御聽取遊ばされたが殿下には痛く御感動遊ばされスポーツの宮に相應しき御下問を遊ばされる等一同は非常に感激九時近く退出した

日本訪問の思出に
東鄕元帥に會ひたい
芬蘭選手が希望

【東京十一日發電通】三日太洋丸で來朝した神宮競技選手と共に妙技を振つてゐるフインランド陸上チームは日本訪問の思ひ出として世界的名將東鄕元帥に會ひたいといふので全日本陸上競技聯盟で海軍省と折衝中であるが多分十三日頃私邸にて面會の運びとならう

秋季競馬會
臺中で開催

【臺中電話】臺中競馬會では十、十一日の兩日臺中第三大隊練兵場において秋季競馬會を擧行したが秋晴れの好天氣に惠まれ二日間とも盛況であつた

最高點の
久米正雄氏
町會議員當選

【鎌倉十一日發電通】十日行はれた鎌倉町會議員選擧の結果人氣作家久米正雄氏は同町初まつて以來最初の最高點で當選した

大親分、杉本氏の
頌德記念碑除幕式
きのふ高雄で盛大に擧行

【高雄電話】一生の仁俠高雄の大親分として市民の輿望を一身に集めてゐた故杉本音吉氏逝いて

五周年
故人の徳をしたふ人々の發起で去る三月建碑した高雄山の麓の地を卜して建設中であつた頌德記念碑は去る七月二十五日竣功故人の命日を卜して十一日午前十時から盛大なる除幕式があげられた、この日參列者は野口知事、小林內務、佐々木警務部長、小林市尹、山本警察署長を初め故人が手塩にかけた高雄消防組員、遺老會員其他の官民約四百五十名、定刻ラッパ吹奏を合圖に一同着席、修祓の儀ありて故人の令孫

綱江孃
は東木夫人に抱かれ消防組員が唄ふ木遣り音頭の裡に記念碑前に進み綱を引けば碑を蔽うた紅白の幕はパッと開かれて記念碑は鮮かに浮かび出て此處に步出世除幕を終る、次で祭神、祭主竹下神官祝詞を奏し修祓あつて祭主竹下神官祝詞を奏在鄕軍人分會長らの祝辭、祝電披露等があり、撤饌、昇神の儀により閉會者に式を終つた、かくて一同設けの宴會場に入つて祝宴を開く中に交歡を重ね盛況裡に解散しそれより野口知事、佐々木警務部長、東木消防組長參列、總代小林市尹、遺子杉本三郎氏、祭主の順で玉串を奉奠、高雄州嘱託吉氏の工事報告があつて

發起人
總代として式辭を朗讀野口知事、消防協會長代理佐々木警務部長、小林市尹、清水中村一諸氏

總工費
約八千餘圓を投じた記念碑は高さ二丈一尺、高雄山の中腹西子灣を眼下に一望に收むる絕勝の地である

特殊偵察演習
屏東飛行聯隊で

【屏東電話】飛行八聯隊は內容の整頓時期で各種の演習に忙殺されてゐるが九日は午前五時より六時迄聯隊全員飛行場に集合偵察、戰鬪中隊の共同演習を行つたが十一日は午前六時突發命令が下つて日曜も休まず全員集合所谷少佐指揮の下に戰鬪機五機偵察機三機の

林總領事がやめる
突如、南京から電報で通知
心境の變化を來たした結果？

中華民國臺北駐在總領事林紹楠氏は先般用件あつて南京市の所、十一日午前突然南京政府外交部より同領事館へ同總領事は今回臺北總領事館から身を引くこととなつたとの通電が這入つた、其の引退の餘りに突然なるに不思議を感じた記者は右入電の消息を知るや、時を移さず早速同領事館を訪ねたが日曜なので、受付の窓口を閉ぢられ入口のすぐ左側には二、三の不審の者が机に向つて何事か事務を執つて居た、記者はこれを幸ひ

一寸領事に會ひたいのだが御來出でしたら通して貰ひ度いと名刺を差し出して面會を頼めば一番奧の机に向つてゐる事務員は記者の名刺に眼も觸れずに、ど傲い態度で其のすぐ隣に坐つて居た給仕に突顎で今日は日曜だから會へないと云つてやつて吳れ

と記者の名刺を突き返す、突顎で給仕君が記者の方を促すを待たず、即座に

いらつしやらないと云ふのか、或はいらつしやるにはいらつしやるが日曜だから會ふ必要がないとでも云ふのか、領事がいらつしやらなくても外の方誰でもいいから取次いで吳れ

と强談を申立てれば、彼は傲さうに突き返へすも心算か給仕に渡した記者の名刺を更に取り、深く眼を通した後、

日曜だから誰も居ない、明日來て吳れ

と更に名刺を突き返す、丁度その時誰も居ないと云つて居る二階から低然、婦人がユウ〳〵と降りて來た、そこで第六感の働きで階段口から一寸覗いて見た、そこには中年の男が立つて居た、階上に面會室のあることを知つて居る記者は一寸會釋してノコ〳〵階段の入口から更に昇つた階がのぞく來訪の意を告げて居る所へ、部屋から出た、揃てより知り合ひの同館首席通譯林國琪氏であつた、記者は更めて往訪の意を告げて二、三質問すれば氏は

林總領事が辭めるといふ電報は來て居るが、電文は明瞭でない、外國電報は大概英文を使つて居るが、其綴り字のローマ字ではよく間違ふからローマ字一字でも違ふと意味が通じなくなる、それを無理に推測すると後で誤解を生ずるから、目下照會中で今では北平(臺北駐在總領事館のことを指す)との關係を絕つこと丈けは分つて居る此際それは判るだらうと思ふ、原因ですか、それは人のことだから分らないよ、推測することも出來ないからね、先般歸國へ歸へる時は「一寸歸へて來る」と云はれたのみで辭める積りなことは全然云つて居なかつた多分心境に變化を來したのであらう

と述べて多くを語らなかつたが辭職するについては色々裏み入つた理由があるらしい、同總領事は未だ定まつてゐないさうだが、後任者が着任するまでの間は現任領事館主事袁家達氏が總て事務を處理することになつてゐる(寫眞(上)はやめる林總領事と(下)は袁家達氏)

圓山動物園の
花鹿を拂下げ
十七頭の大家族となる

精力劑として本島人や支那人間に珍重されてゐる「袋角」や「鹿茸」は花鹿からとられてゐるもので高雄州の琉球嶼や火燒島などではさかんにこれを飼育し島としての有力な產業の一つである

×　×

この花鹿が臺北市の經營する圓山動物園で初めて「タッタ」一つの園内動物園に現はれたのは左程古いことでもないが初め雌一頭、雄三頭であつたものが次第に繁殖し一昨年は四頭、昨年も四頭今年は五頭の仔鹿が產れ現在十七頭の大家族となり全く「殖めよ殖えよ」の大繁昌振り、さすがは「精力王」だけあると其の筋でも驚いてゐるが精力が强いばかりでなく動物としては珍らしく壽命も永く先づ二十五年や三十年は大丈夫といふのだから一層驚かざるを得ない

×　×

この「精力王」も夏の暑さには聊か屁古垂れ暑い日には小池に這入つて涼をとるが夏が過ぎ秋となり十一月、十二月となれば斷然元氣を恢復し精力旺盛となり、交尾期に入るが仔鹿が產れるのが七月中旬から八月上旬まで現在五頭の仔鹿が盛んに乳を吞んで無邪氣な生活を送つてゐる併し花鹿の缺點とも云ふべきは中々人に馴れないことでこの點は奈良あたりの鹿とは大分趣を異にするやうだ

×　×

ところで精力絶倫のためか五年頃に生產力が增加し產れた仔鹿も三年目からは一人前になつて產むので動物園でも同科が餘計に入るやうになり聊か持て餘しの氣味である、この十七頭の花鹿の大家族に要する食糧は一日に青草が十九貫甘藷が五貫、燕麥が一貫、フスマが一貫を要し青草は園内で每日五十貫を刈取つてゐるが花鹿の食糧がだん〳〵多くなり今に草飢饉に陷りはせぬかと懸念されてゐる程だ

×　×

それで動物園關係者間にはこの花鹿のうち、いくらかを民間の希望者に時價で拂下げやうではないかとの議が持上つてゐる、拂下げるとすれば値段は果してどの位となるか不明であるけれどこの間宮崎にやつたのが一頭四十圓であつたから先づ時價三十圓から四十圓位の範圍ではあるまいかとみられてゐるがこれが愈々實現すれば定めし特志家連が押し寄せることであらう(寫眞は圓山動物園の花鹿の群れ)

二百二十日
曇り勝で靜穩
暴風期節大體去る

十一日の二百二十日は北海道から紀州沖、奄美大島、石垣島、本島北部を經て澎南附近まで不連續線(太平洋の風と滿洲の風とがぶつかるところ)が通つてゐる爲內地本島共天候穩やかで五島の富江に雨が降つて居り、本島は北部に雷雨の模樣がある、高氣壓は北海道、樺太方面にあり低氣壓らしいものはないがパラオ島附近に發生の飛候がある、昔から九月は例に大暴風が襲來した例もあり又遅れて下旬に本島や內地が襲はれたこともあるからまだ安心は出來ないが二百十日も二百二十日も無事に經過したから先づ大體に於て本年の暴風期節は濟んだと云つて好からうと臺北測候所では語つてゐた

各飛行機は午前七時二十分飛行場を離陸高度八百米の上空を飛翔して旗山、臺南、高雄の上空で約一時間半に亘り特殊偵察演習を行ひ聯隊長植賀大佐は系統機に乘つて大編隊の後を追ひ高度千米より絕えずその行動を視察した

電燈料値下げ
需要者大會
決議文を可決す

【嘉義電話】嘉義電燈料値下げ需要者大會は既報の通り十日午後七時より嘉義公會堂に於て開催された各地よりの參會者三百餘名を算し斗南、大林、民雄、北港、新營、嘉水等を始め嘉義市をはじめ斗六、虎尾、西螺の五分間演說に入り同地代表者の五分間演說に入り岡山、溪上、西螺、屏東、伊兒諸氏(以上嘉義側)甘文春(虎尾)林燦東(白河)劉新僥(民雄)陳宗能(嘉水)李茂藩(斗南)諸氏各々熱弁を振ひ場內沸き返るばかりの盛況裡に決議文を朗讀し更に議長より實行委員を指名せられ議長席につき直ちに次の決議文、宣言を滿場一致を以て嘉義の陳情を行ひ委員長の陳乃賢氏は市尹を推舉し、嘉義側市長以下百餘名を指名して大盛況裡に散會したが今後の運動は嘉南州北部一市六郡下に於て隈なく演說會を開催し嘉義電燈會社の暴利擬りを啓擔なく暴露し一般需要者にこの運動を徹底せしむる事になると

決議文

嘉義電燈會社は特殊保護事業なるに拘らず徒らに暴利を貪り時勢に適合せざる事明かなり從つてこの不況の實情と他電氣會社に照らし料金の値下げをなすべきは輿論の切望する所以上の理由により吾人需要者はここに嘉義電燈會社に對し現在の料金より二割引下げ方即時斷行を要求す

右決議す

模型飛行機の
競技大會開催

模型飛行機競技大會は十一日午前八時から臺北練兵場にて擧行されたが觀覽者五百餘名に達し參加者一百餘名、近來稀れなる大會であつた入賞者左の如し

(A組)第一部(日本記錄を破る)十五分四十二秒
一等賞　牛尾稔　十五分四十二秒
二等賞　田中嘉二　三分三十秒
三等賞　陳鴻德　三分十五秒
四等賞　桑田忠三郎　三分十四秒
五等賞　高山正八　三分十秒
六等賞　大屋哲雄　二分五十七秒
B組(少年組)
一等賞　志田芳雄　二分二十二秒
二等賞　石井福治　二分十五秒
三等賞　大屋英二　二分八秒
四等賞　原田勇喜夫　二分十秒
五等賞　中島菊治　二分二秒

檢事局の取調
七時間に及ぶ
東京瓦斯事件益々進展

【東京十一日發電通】東京瓦斯疑獄に關聯し收容中の前常務鈴木貞一氏に對する十日檢事局の取調べは前後を通じ七時間に及んだが鈴木氏の取調べが斯く長時間に及んだのは疑獄に關聯中の白土前助役が前後二回に亙る七萬五千圓の金について切に辯解し飽くまで收賄乃至贈賄の事實を否定してゐるので贈賄者たる鈴木氏の供述から搦り切つて行かうとしてゐるものと見られこの間に介在した鈴木氏の腹心赤沼吉五郎の逮捕が急がれてゐる

大學高專の
武道大會
軍司令官も參觀

第二回全島大學高專武道大會は十一日午前八時から本年の當番校たる臺北高校道場で開催された參加校は大學高商高校の三校で八時各本部會長の挨拶あつて直に試合に入つた折から阿部軍司令官清水參謀長の熱心な觀戰のうちに白熱戰は繰返されたが柔劍道共高商が優勝に輝き劍道では同じく高商の行宮君劍道では高校の坂本君が優勝、午後一時三十分終了した、成績は左の如し

△柔道
一位　有　賀(高商)
二位　松　隈(高商)
三位　坂　本(高商)
四位　安　山(高校)
五位　原　(高校)
△劍道
一位　坂　本(高商)
二位　鈴　木(高校)
三位　幸　田(高商)
四位　橋　村(高商)
五位　穎　(高商)

大學に剛志なく高校高商の準劍となつたが高商優く二三位をとる年少選手鈴木不振の高校軍にあつて孤軍奮鬪したが惜しくも決勝戰に坂本に敗れて二位となる大學は意氣揚らず

瑞芳庄の殺人犯人
二名だけ逮捕さる

【基隆電話】既報九月夜基隆郡瑞芳庄龍潭に於いて基隆市八斗子漁夫(二五)を殺害刀、滅多斬りにし逆に殺害せる犯人については郡警察課及び基隆署協力

捜査中
のところ十一日犯人五名の七名は庄町字東勢坑の山中に逃げ込んだことが判明したので刑事の一隊は直ちに同山の追跡をおさへじりじりとせめ寄せたところ五名の中黃阿灣及び林天助(二八)の兩名だけはもうのがれぬところと觀念したものか午後三時半

山を下
りて逮捕されたが又逃げた二名は尚山の頂きにゐるが之又近く逮捕を見る筈である

須藤潔氏勇退
內地へ引揚ぐ

【基隆電話】元基隆土地建物會社基隆支店長須藤潔氏が今回勇退して十三日の蓬萊丸で家族と共に郷里名古屋に引揚げる、氏は基隆在住二十五年、建物會社が基隆に創立された當初より勤續し基隆市區劃成に對し功勞多く會社が本店を臺北に移すや基隆支店長として今春に及び格別彰誠會社をして今日の隆盛をいたさしめた事は市民も等しくこれを認めてゐるがその間在鄕軍人基隆分會長として七年間勤續し基隆軍人の基礎は氏によつて固められた、又同年前愛國婦會を組織し後援り此の役員として會務をとり今日に築ける、基隆自衞團長として苦勞したが氏は人格圓滿才にたけ交友多くその徳望は一般から惜まれ近日送別會が催される

內緣の妻を斬る
他の男と語り合つてゐるのを見カッとなつての兇行

【基隆電話】十一日午後三時二十分基隆市堀割町一〇八大工何獻財(二五)は昭和四、五年來の內緣の妻(三二)を訪ねたところ妻は同地の三、隣家の男と睦まじげに語り合つてゐるのを發見カッとなり所持の短刀を以て脇腹を斬りつけ重傷を負はせ逃亡せんとしたが巡查の追跡に見つけられ基隆署に逮捕された

平溪庄の捕物
映畫そのままの格鬪

【基隆電話】十一日午前十一時基隆郡平溪庄石底字擺接堡○○坑附近の坑夫一名の男が坑內坑の中に隱れて居ると知つた林巡查が探知ふみ込むや內一名の男は

頑强
に抵抗するので巡查一時間漸く逮捕したところ他の男はこの事を捕へられると必ず死刑になると叫んで突然逃亡を計つて川行山と所かまはず逃げ廻るのを巡査はひるまず追跡し遂に崖の上まで追ひつめるや件の男は深さ十數丈の斷崖下にとび降りたので同巡查も迂回して之を捕へんとするや又抵抗泥田の中で上になり下になり映畫そのままの活劇を演じて午後三時半漸く逮捕マニラロープで斷崖上までつりあげ郡警察に連行したが右の男は平溪水街水坂渓字南勢埔一七九番地林〇(三〇)と稱してゐる

死刑
になるからと逃亡するからには餘程の重大犯人とにらんで目下嚴重取調べを行つてゐる

青年團對抗で
鐵團が優勝
きのふの水上競技大會

第三回全臺灣青年團對抗水上競技大會は十日午前九時より東門市營プールに於て開催されたが見るべき記錄もなかつた、青年團對抗では、臺北鐵團六八點を獲得して壓倒的に優勝した、二位は一四點の中研團、三位は一點の臺銀團、四位は二點の西門青年團、寂聖三度、水溫二七度、北風三米、決勝記錄は左の如くである

△社會人內組五十米背泳1今出(研志)五一秒2村越(文教)△同乙組百米背泳1川角(研府)一分四六秒六2中村(西門)△同甲組百米背泳1行成(知冬)一分三七秒四2武田(銀冬)△同丙組百米蛙泳1荒木(銀)一分五七秒四△同乙組百米蛙泳1田內(銀)一分三四秒八△同甲組百米蛙泳1宋松(中研)一分二六秒八2上田(銀)△同丙組二百米自由型1中山(北商)三分四四秒△同乙組二百米自由型1佐(銀冬)三分三八秒△同甲組二百米自由型1酒田(銀冬)三分五一秒六2小谷(銀冬)△同丙組五十米自由型1松島(銀冬)三十秒2荒木(銀)△同乙組五十米自由型1谷川(東洋コンクリート)三三秒一2小林宋松(中研)三〇秒八2川田(銀)三一秒△同丙組百米平泳1川原(銀冬)一分四七秒2荒木(中研)△同乙組百米平泳1河原(銀)一分三一秒一2菅原(西門)△同甲組1井市研)一分二八秒2淺野(銀冬)△同丙組百米自由型1中山(北商)一分三一秒三2今田(銀冬)△同甲組百米自由型1打越(中研)一分一五秒六2西澤(銀)(上記)△同甲組二十米背泳1鈴木中研)二五秒六2松延(研)△同乙組二十五米蛙泳1四田(中研)二一秒四2田內(銀)△同丙組二五米背泳1田崎(中研)二五秒四2同井(銀冬)△同乙組二五米定踊1木莊(銀)二九秒二△實業青年團四百米自由型1安元(銀冬)

2高橋(銀)△同百米自由型1小林(銀)一分八秒四2同四(銀)一分二秒八△同二百米平泳1小西(銀)二分三二秒九△同二百米自由型1安本(銀)三分八秒六2河原(銀)二分三五秒△同二百米自由型1安本、松村、小林)二分一秒2中研(酒井)

自轉車に轢かれ瀕死の重傷

【基隆電話】十日午後七時半基隆市義重町三ノ一頼茶カフエー前で太平町山口甚太郎方店員基隆市入船町二ノ一四消防組副組長増田乙吉氏の甥小泉利一(一〇)が新店からの歸途を急ぎ道路を橫切らんとした際突然背後から疾走し來つた自轉車にひき倒され頭部の後部強打し其他各所に傷を負はされた、自轉車の男は車が破損したためその場に乘り捨て何處かへ姿を晦ましてしまつた、急報と同時に基隆署では清水刑事を現場へ急行させ犯人逮捕に着手したが未だ犯人の行方は判らず、加害者は年齡二十四、五の本島人男、消棄された自轉車には鑑札番號四七五九(?)後部泥除の番號は四九七五一號であつた、被害者小泉は直に基隆醫院に擔込まれたが瀕死の重傷である

臺北市內の大掃除

雨天の爲め延々になつてゐた臨時大掃除は十二日左記の通り行はれるが(雨天順延)天候の模樣に依り施行するや否や決せざる時は當日午前七時臺北市役所から旗を打上げる由

【南警察署內】
△福町派出所管內　瀧町、東園町
△川端町派出所管內　古亭町、泉地町
△富田町派出所管內　富田町、水道町

【北警察署內】
△太平町二丁目派出所管內　太平町一丁目、建成町一丁目、北門町の一部、綠町三丁目、上奎府町一丁目、建成町一丁目の一部
△太平町二丁目派出所管內　太平町二丁目、建成町二丁目の一部、日新町一丁目の一部
△中山派出所管內　中山町、上奎府町、西新莊子、大龍峒、下奎府町

北海道の洪水

【札幌十一日發電通】十日午後より北海道は殆ど全道に亘り豪雨に見舞はれ石狩川は增水二丈五尺に及び中心地二つの川は增水し家屋の浸水するもの多數を算してゐる鐵道線路も破壞され交通杜絕、住民は續々避難しつゝある一帯田畑大洪水と化し農作物に被害甚大なる模樣

桃園の釋放者
保護デー行事

【桃園電話】桃園郡釋放者保護會では來る十三日を保護デー當日は午後出役者等の主催を開き郡守講話ありて各街庄に於て講演會を開催し、同日は主催、公會堂にて活動寫眞會を開催し、一般にその趣旨を徹底せしむる

六〇ハップと
療法實驗公開

六〇ハップ製造元武田組合名會社藥品部では、同ハップの藥理的效果を一般に周知せしむる爲め各地に來營したが同社と本島の總代理店たる壽商會の主催で十三日より十七日迄市內東門町藥業組合事務所樓上で同療法實驗の無料公開を行ふ由

新竹の
簡閱點呼
好成績裡に終る

【新竹電話】新竹市に於ける簡閱點呼は十一日午前七時から小學校に擧行、參加人員八十一名、一同點呼執行官宮下少佐の訓諭の後に移つたが成績良好で國歌奉唱し正午終了した

近日
放浪
河部五郎・酒井米子主演
和蘭陀獅子
第二世界館

漢文 臺灣日日新報

貴族院多納稅議員總改選 政友會廿三名大勝利 民政黨十二名大失敗大勢決

十一日東京電。貴族院多額納稅議員總改選。定員六十六名。十日一齊舉行。除北海道。山形。福島。長野。沖繩一道四縣外。三府三十九縣（定員五十八名）即日開票。結果如左。

民政十二　民政系五　政友二十三　政友系五　國同一　純中立十二

政友比民政。多十一名。得壓倒的勝利。觀之前期三府三十九縣。當時分野。民政二十。民政系八。政友二十。政友系四。純中立六名。民政派失十一名。政友派增四名。結果又純中立增六名。爲從來倍數。況十五名候補者中。得十二名當選之高率。今於舉國一致內閣出現之現象。此回選舉。非大衆選舉。固不得直接民意之歸趨。干涉亦少。較得公正。可堪注目。十一日。自餘北海道。山形。福島。長野。沖繩一道四縣定員八名開票。山形。長野。沖繩。均無競爭。實際十日結果。大勢以決云

滿洲國承認手續 樞府委員長等決定

十一日東京電。滿洲國承認所關準備手續。樞府審查委員會。委員長以下決定如左。

委員長　平沼騏一郞

委　員　富井政章、荒井賢太郞、河合操、鎌田榮吉、石井菊次郞、有馬良橘、原嘉道、栗野愼一郞、

西園寺公 望日回洛中

十一日御殿場電。西園寺公。避暑御殿場別莊。會齋藤首相。內田外相等。聽其報告一般政情。訂十五日。赴京都。歸田中村清風莊。逗留至十月末云

林紹楠氏 辭總領事

十一日。臺北中華領事館。接到南京政府來電。當該館中之總領事林紹楠氏辭職。後任未定。其事務暫由黃副領事代攝。右據同館員某氏談云。林總領事之辭職。原因未詳。大概出於心境之變化歟。

產組大會 出席制限 爲旅館關係

第九回全島產業組合大會。預訂十月十六七兩日。開于花蓮港廳。現正著々準備。西部每次大會。列席者千名以上。而東部因旅館。並船車輸送能力關係。乃由產業組合。制限出席人員。協會加入。組合未加入者。決定爲四百七十五名。以左記各州廳別。按配人員

▲臺北州百五名▲新竹州六十五名▲臺中州百五名▲臺南州百五名▲高雄州六十五名▲澎湖廳五名▲臺東廳十二名▲花蓮港廳十三名。

計四百七十五名于各州廳。將此按配數。豫先選定出席者。蓋該大會出席者。除此而外。尙有官廳其他。總數約至六百名。而花蓮港廳。于大會前後。爲東部臺灣宣傳組織視察團。于大會前之十三四兩日。視察臺東廳下。十五日大魯閣峽吉野村。大會後之十八日。視察大魯閣峽吉野村。十九二十兩日。視察臺東廳下云。

嘉郡警課 監督者會議

嘉義郡警察課。今回爲圖警察事務刷新及統一連絡。以增進能率爲目的。十日午前十時起。在郡會議室開第一回監督者會議。出席者猪口郡守。津田庶務佐野警察兩課長。及警察課各係主任。民雄竹崎兩分室主任竝巡視區警部補三名。巡查部長二十二名中二十名出席。猪口郡守一場訓示後。移于左記議事。

（諮問事項）一、規律振肅所關之件二、事務改善所關之件。

（協議事項）一、道路砂利補裝工事施行之件二、林業關遞送之件三、武術講習費寄附之件四、民部接觸上連絡取締所關之件五、登新高山自動車路工事施行所關之件

（希望事項）一、勿論公務以及私生活事項所關之件

國際銀行支店撮影 不用軍事目的 迄今多集只資營業

十日華府電。美國務省。接報有國際銀行。命大阪支店。撮東洋各地重要建築物之影。見疑於日本新聞。謂疑利用於軍事目的。爲使日本國民對美感情不快之報。因求日本大使館諒解。該銀行本店辯明如左。

一、各支店營業關係。主要地之寫眞。迄今蒐集。

一、其目的爲資於事業上。

一、範圍不限日滿。含軍事上不必要之地。

東京電報。報國務大使。與內田外相會見。確認斯事不依軍事目的之事。國務省。所言如左。

日美兩國。滿洲問題。不見政策一致。然美國希望平和。近有挑發傾向。所爲寒心。然誤解一掃。所甚欣慰。

國民同盟準備立黨 決定全國大遊說

十一日東京電。國民同盟。準備立黨。十日午後三時。於九內本部。開黨組織。並政策。開委員聯合會。安達委員長。以下各委員出席。決議十二日總會附議。立黨定政策。全國大遊說。六時散會。綱領決定如左

綱領

一、擴充立國精神。期國際正義再建。

一、確立統制經濟。期大衆生活保障。

一、打破政界積弊。期國民政治徹底。

五指山禪寺 秋季例祭

臺灣十二勝之竹東郡五指山觀音禪寺。于來十六日正午。在大雄寶殿。舉行秋季祭典。爲擬信新增福壽。拔諸先靈。超昇極樂。是夜開盂蘭勝會。普施水陸孤魂等。

臺北州產米改良 二期丸糯勵行拔石 臺北州下關係者碰商

本島產米多混石粒。在內地受非難。臺北州爲產米品質向上。對全島率先斷行拔石。去十日午前十時。于州會議室。開關係者碰商會。出席者督府則作田技師。臺北檢查所後藤技手。州則富田勸業課長。梶原技師。小池產業主事。犬飼技師。其他係員。七星郡吉森庶務課長。中西技手。正米市場姜朋元氏。米穀商組合加納氏。移出米商組合林澤川氏等。富田勸業課長就議長席。簡單叙禮後。遂入議事。而就拔石實行之可否。今不再爲問題。自不得不實行。而其實行之米種類。將對全部或爲二期丸糯乎。種々協議。結局定自二期丸糯。對北投士林兩庄之所謂士林丸糯實行。其實施法在地域內。組織土壠間組合。關組合組織斡旋及事業上之指導。依託米穀商組合。而宣傳計畫其他。由州商工係及米穀商組合。七星郡役所間。協議決定拔石器具之選定。依託總督府。而就其具體案。近更合集米穀商組合。米穀檢查所。州及七星郡當局開碰商會。議至十二時半閉會。又拔石實行並宣傳計畫之概要如左。

一、實行主體。以士林北投之土壠間業者組織組合。

二、時期自第二期丸糯。

三、拔石器使用所產局所推選者

四、拔石器中若干。由本州購入。貸付組合。其不足分。由當業者或組合購入。

五、經費組合員負擔。約四五百圓。

六、組合實行事業如次。一、對農民宣傳乾燥調製。二、各組合員出優良米。而調製米必爲拔石米。三、包裝付票紙表示士林拔石米。四、內部揷入宣傳標。五、利用臺灣米報。日刊紙。或小册子等。六、于內地重要市場宣傳。七、對內地各市場問屋或仲買業者。直接宣傳。七、與島內有力移出業者特約。務使以相當高價取引。

七、就組合組織。竝各項實施。則與州郡檢查所土壠間同業組合及街庄協力。然就組合組織。主以臺北米穀商同業組合當之。又選定士林。北投者。以同地方多產丸糯。會有士林丸糯著名之歷史。即于現在。同地方丸糯。品質優良且有相當產額。又士林庄有丸糯原種田。致力于育成優良品種。于宣傳資料爲有力故也。又蓬萊米同地方產。其美味且質優。產額亦有相當數量。殊如有北投溫泉。于宣傳上亦甚便。若以「北投蓬萊米」。應受歡迎。蓬萊米之宣傳方在折衝云。按自明年早米實行云。

在鄉軍人 籌移滿洲

十一日東京電。關東東北地方十一縣在鄉軍人中。選拔五百名。滿洲試驗移民。至十月中旬。擬發東京。赴移住地。東亞殖民協會至來春三月。籌將北海道及東北地方在鄉軍人三百家族。移住大孤山。及滿鐵沿線。拓務陸軍兩省。方在折衝云。

本島不動產貸付 一億二千三百萬圓 損失補償法臺灣適用

議會通過之不動產融資損失補償法。爲補救銀行其他。而臺灣亦將適用與否。島內一般。異常注目。惟此點與中央一邊當局。熱心折衝有效。同法單指定融資銀行之勸銀。在臺灣行支店（臺北及臺南）。當然及于臺灣。不動產擔保貸付之中。使勸銀融通二成即約百六十萬圓。而其損失補償。又對低資貸還猶豫。合各植民地。在三百萬圓之譜。其中臺灣按分擔融通四十萬圓。又據金融課調查。島內銀行不動產擔保貸付金額。土地擔保一億一千百七十萬六千圓。建物擔保一千二百七萬二千圓。計一億二千三百二十八萬一千圓云

屏東愛護舍 開保護日

屏東愛護舍。訂來十八日

美國能守華盛頓建國精神 日本不失皇道爲中心根本 兩國關係理不決裂 荒木陸相語美國普禮上海支配人

十一日東京電。美國「普禮士」上海支配人馬錫爾氏。赴任途次來朝。十日午後三時。與該社東京支配人梅翁氏。偕到陸相官邸。訪荒木陸相。叙新任禮。交換意見。四十分辭去。會談談容如左

陸相曰。既如今日情況。率直表明余意。是爲彼此。或謂太强。亦未可知。然吾人於華盛頓大統領。建國崇高之精神。竝其永繼之羅斯福氏。公明正大之精神。亦所感謝。亦所同感。此其精神。爲對美國之根本概念。

馬錫爾氏曰。今日日美間。有種々謠言。美國人。對日本人。無惡感情。此間觀國際野球。西中尉優勝之時。往觀之美國人皆立而喜可知。

陸相曰。不執美國與日本。根本所處精神等。只論私事。所以有謠言。美國所觀亞細亞之現狀如何。以此可耶。如以爲可。謬說孰甚。日本爲整頓亞細亞不可不邁進。如此爲不可。則當與日本協力爲之。

馬氏曰。故余亦欲再一往觀滿洲

陸相曰。東洋內部。不諳言此。然中華如今。總難有成

馬氏曰。今日中華公使訪問。既爲何故。

陸相曰。爲日華親善。關滿洲問題。來聽日本具體案。

馬氏曰。中華公使。看取其希望與日本眞精親善耶。

陸相曰。爲日華親善。對滿洲問題。中華人。不能默然。

馬氏曰。國際經濟重要建築物撮影事件。美國人爲之驚愕。何其不善。

陸相曰。未聞有所報告。豈有誤耶。美國守華盛頓之建國精神。日本不失皇道爲中心之根本。日美關係。決無惡化之理。

花蓮廳稅務 開辯論會

花蓮港廳稅務課內。組織一研究會。目的爲事務刷新及精神修養等。每月集職員。互相發表研究。按來十三日午後一時。在同會堂。開第一回辨論會。

點蚊煙不愼 灰燼兩棟

新營郡柳營庄新厝人蔡新笨。所有牛舍。去八日下午八時頃。突然發火。所轄警察所佐藤林兩巡查。急到現場。指揮壯丁村民。極力撲救。至九時火滅。延燒隣家吳士性宅。計二棟。損害金額約四百圓。關其發火原因。爲是日友人會文郡下營庄廍豆寮人陳能守。宿在新笨家中。點蚊燻香。不愼延燒云。

屏東更生院 主任醫受賄 贈賄者卅餘名

屏東街人。江來。年二十五。勤務于屏東矯正院。爲守衛。與前在同院主任醫現在潮州郡萬巒庄。開業醫某氏。年二十五。共謀對入院患者。秘密裡注射某藥。事被當局發覺。去十日。兩人均受當局究問據聞兩人。對患者二十餘名。收賄多者八十圓。少者或二三十圓不等云。

爲亭子脚內掃除問題 告訴受三巡查暴行 添高雄醫院診斷書提出

高雄市湊町四丁目日本部藤助。年五十一。去七日午前十一時頃。在自宅附近路上。被湊町派出所勤務巡查齋藤請金小島三巡查。暴行。當日即入高雄醫院治療。一面以齋藤請金。小島三巡查爲對手。添附高雄醫院。春田外科醫長之診斷書。提起暴行告訴。於臺南檢察局。茲據本部談云。七日午前十一時頃前記三巡查。到本部家。告以亭子脚內之掃除。爲不徹底。受注意。是時双方諸言間。一二三齟齬。三巡查即用暴力。要將余帶往派出所。致余全身數處負治療要三週間之打撲傷。一面依高雄署所查。則云是日爲衛生日。於前記時刻湊町派出所員巡邏管內人家。亭子脚內淸掃狀況。本部之亭子脚內。極其不潔且外面亦有椅子。三巡查命他將該椅子。搬入屋內一番掃淨。本部反出反抗的態度。即在派出所員面前。坐於椅上不動。更說我不是爲掃除來臺灣的。於是三巡查憤慨。欲帶他往派出所。途中突然不知何故暴動。自己跌倒受傷。因歸自宅。請海老名仲村中和。三醫院主往診。於是晚寮一邊。乃發明無何等過失。又據診察。本部之前記三醫師所云。均認本部身體。無何等異狀。故終入高雄醫院。然就高雄醫院。則謂負傷程度。爲頭部。足部。有負全治要二三週間許之擦過傷。照高雄署滿原行政主任談曰。暴行云云。是全然無根。認三巡查之處置。爲警察官當然要執之正當方法。無何等可以非難之點。此問題不是一警察官。對人民問題。事關于警察之執務行爲。當方決不輕輕放過。定要相當糾正之云。

桃園街役場 農事改良 及賞金授與

桃園街。去九日在役場樓上。開農事改良組合聯合會總會。竝與賞金授與式。午前九時起。各農事組合長暨役員受賞者等百餘名入席後。簡助役述開會辭。徐技手報告成績。次街長代理簡助役。對稗及異品種除去成績優良者。九十八名。各授與賞金。並爲一場訓勵。式終即移入聯合會通常總會協議各事。經各役員討論後。決定如左。一、役員補缺。一任聯合長指名。二、昭和八年第一期作栽種限川旭號。臺中六五號。竹成。八仙糯等。愛國。臺北六八號。而其他之雜種絕對不許播種。三、爲節約金肥各要栽種大菜豌豆及繁殖肉豚。勵行堆肥舍建設。四、第二期作各組長要負責督勵各組員除稗及異品種類。五、昭和八年起稻作勵行每坪六十株之密植。行產獎勵之事。限至十六日由組合長查定報告。七、定二十四日招集組合員在桃園公會堂開農談會。八、依業佃會主旨實行贌耕契約。會至正午。始告閉會。移入午餐後散去。

新京行客車顚覆 死傷約百餘名

十一日哈爾賓電。十日午後九時四十五分。哈埠發新京行旅客列車第十一號。在南去十一基羅地點。即十一日午前二時四十分頃。脫線顚覆。機關車。一、二等客車粉碎如微塵。旅客死傷百餘名。事起深夜。車內大混亂。附近鮮血淋漓。不可名狀。邦人死傷亦多。又該列車。旅客約六百名。急報一傳。今晚哈埠急派衛生隊救護班。前往現場云。

臺中城隍遶境誌盛 比例年更覺熱鬧 來觀者衆不下四萬人

臺中市各商團々體。準備迎城隍繞境一節。經屢誌前報。如所豫定。去十一日舉行。過午諸商團々體。所扮裝詩意藝閣。蜈蚣閣等。四十三閣。南北管。獅陣。大鼓陣。三十餘陣。齊集後。二時拔隊起程。第一日巡繞直街。是日天氣晴朗。然尙甚熱。因屬農閑期。故遠近來觀者。視昨年更多。自動車汽車。每回皆滿載。陣頭所過之處。咸見人山人海。約略不下四萬人。非常雜沓。爲交通整理。並防事故。警察署全員出動。本年扮裝藝閣。猶多清新。就中如內臺人士木建築請負團。所裝七仙姑。韓文公巡雪。氷仲買組合。双艷忽從天上降。自動車團館娃龍吟水嘯。鳴鳳下棊生魚商團。一氣化三清。外數閣。及個人一港。小西湖。蘇皇后請妖赴宴。彰洽興。黃帝昇天。皆博觀衆賞讃。一面各商團。盡匠廣告尤力。且更派武入夜各廟宇外數起。開演子弟戲。烏戲。往來遊人如梭。自臺中驛前。至第二市場廣衛。各舖戶前。本回遍懸秦祝燈籠。萬點從光爭輝。祭典景象。更覺濃厚也。

夫婦口角厭世

桃園街。長美時計商詹田。因與其妻口角。竟於去十日午後九時。嚥下石炭酸以圖自殺。經家人發覺後延醫救治中。諒不至有生命之虞云。

自縊未遂

新竹郡香山庄牛埔人曾來發之妻許氏得。爲家庭使用金項。與其夫口角。被打傷頰。憤慨不息。去八日深夜。在房內縊經中。幸被家人發見。急將双扉踢開爲解下。得以不死。

文山

組長辭表　新店信用組合長。此番因有所感。自行告退。已提出辭表于組合。從來該組合長。乃以庄長兼攝。多謂有名無實。當此非常時之農村。組合員皆期信組益加奮鬪活動。以爲挽救。故有多數提唱改革之聲。又除現組合長而外。有舉現役員中之林魚。劉干儀。蔡玉麟三氏。最爲適任。欲擇其一充之云。

開慰勞會　前任新店庄長黃皆得氏慰勞會。當之十日午後三時。開於公會堂。參會者。文山郡守以及庄內外官紳。約有五十名。頗稱稀有盛況。及開會。首由郡庶務課長起述頌辭。次黃氏殷勤答謝。盡歡至午後五時閉會。

庄長敍禮　新任新店庄長村田眾德氏。去八日新任。於翌日起。迪日到庄內各地方。敍新任之禮。並於月十一日。特設宴招待郡庄職員乃協議會員區委員。以庄政關係者爲限。約百名。在公會堂。開宴懇親。席間略陳其抱負一端。盡歡散會。

野男女紊亂風紀 相與抱擁于斗六溪 即決各罰拘廿五天示儆

斗六郡警察課當局。每對於花柳方面。十分嚴重取締。然尙有紊亂風紀之事。本月八日。午前二時頃。有基隆產范氏茨者。年二十七。現樹幟于斗六街江山樓旗亭。與北港郡新巷人郭水削。年三十餘。在同旗亭。飲至大醉。即互相抱擁在同旗後之斗六溪三、四尺深之水底戲遊。是夜雖深更往觀者衆。郡警察課當直巡查。聞得人聲騷動。急赴現場。拘入郡街。該一對野男女。以風規紊亂。及妨害安眠名義。男女俱即決。罰拘留二十五天。街民聞而快之。

六歲子溺死

高雄州湖內郡枋寮庄人張南湖之長男張老抹。年六。此次在枋寮溪岸牧牛中失足墜落深處溺死。

拘三惡少 暗用樹乳弓射石人家

嘉義市南門町人李耀東。年三十七。去七月下旬。有新築住家一棟。落成後每日夜約五、六回。室內及屋上。有石亂擊。家人出視。四無人影。後來成友包圍屋外。仍被射入。心甚疑之。家人有處疑屋築在陰地。疑或陰魂出爲作祟。遂將情具稟當局。嘉署接報。出爲索查。至九日。始偵知爲同所一丁目人吳歲元。年十六。外二名。持樹乳弓。立於僻處拾石爲矢。射人前記宅內及屋上。一一名現均被拘司法室待辦云。

彰化

短期農講　彰化郡當局。爲圖農事振興。定自本十二日起三日間之短期農事講習會。場所在郡[illegible]會議室。講師爲有馬勸業主任。

鼠賊跳梁　彰化街內北門迪那須商店。於月七日夜。被鼠賊以石擊破門及煙草廚之玻璃兩面。被盜去煙草數箱。天明始覺。

救濟演藝　臺中同聲會主催。臺中市官民有志後援。水災救濟演藝會。來十三日。十四日。午後七時起。將開於臺中座。醉月樓藝妓。及日高新舞踊團。欲出演云。

豐原

免囚保護　豐原愛護會。豫定來十三日。即全島免囚保護宣傳日。對管內各戶。撒布免囚保護宣傳單。並於是夜七時起在豐原男子公學校雨天體操場。映寫電影。供一般無料觀覽。

城隍遶境　豐原街守護神城隍爺。每年皆於舊曆六月十五日。迎神慶祝遶境。本年因關郡虎疫關係。特延至來十五日。即中秋節日。再依恒例迎神遶境。現由爐主及各關係者。準備詩意藝閣等。屆時當有一番之熱鬧云。

臺中

製氷繳資　臺中市中央製氷株式會社。去十日起。開始第二回株金拂入。一株二圓。期限至十月末日。又來十二日。於該社事務所。[illegible]

詐欺公判　東勢郡東勢庄十牛。李金發。及揚阿昌外一名同謀。將一圓紙幣。斷爲二枚。就所斷之金絲。表面裡面。各貼於紙上。出示楊添發。張珍等。云係彼等所爲造之紙幣。勸誘其出資購買要購辦應用物件。前後計詐欺三百五十圓一案。去十日在臺中地方法院。刑事單獨部進見判官係。吉田檢察官立會開廷公判。

南投

局長退官　南投郵便局長山本竹太郞氏。自明治三十五年渡臺。從事於通信事務員之奉職。大正元年任彰化郵便局長。大正六年來任斯職。大正九年即兼郵便局協會會員。爲人平和誠懇。十六年間如一日。茲因老衰乞休。將於來二十日頃之便船。歸鄉靜養。街民惜之。

博徒入網　近來南投地方。時聞有聚衆賭博之說。日前被千葉刑事一々檢舉。賭徒暴露者多至三十餘名。現尙取調中。

禁止造氷　南投製冰。據街衛生課所檢查知含有安母利亞質太多。故於去七日。由當局命該會社停止製造云。

嘉義

林產物額　嘉義郡下。一年間林產物。據當局調查。木材十七萬六千五百二十七圓。桃材十四萬五千百八十四圓。果物十七萬五千四百二十圓。其他三十五萬三千四百十五圓。以上總生產二百三十二萬九千九百六十六圓。

地震觀測　市役所當局。於嘉義市內。設地震觀測所。由市民寄附物款中。日前得市協議會員[illegible]南大洲管理者任老。充當館。市負擔經持管理費。年一千二百圓云。

詩壇

避暑　李少庵

爲避炎威計。移居水竹村。日長消午睡。暑退爽吟魂。坐月攜新卷。看雲倒酒樽。山風不相亂。何事夜敲門。

即事

煙林含暝色。籬遶絕人蹤。月影歸鴉竹。風聲度晚鐘。泉流敲斷石。微雨洗孤峰。乘興尋詩去。沿溪獨曳筇。

偶成

青山對星樹遶牆。硯匣時羅律賦長。睡覺午窓人半醒。竹籬捲起坐斜陽。

三首以即事詩。最爲脫有致。　潤菴漫評

先嚴陳瑞麟儀[illegible]

男　陳榮堯

親族

友人

香港 屈臣氏大藥房廣告

註冊商標 TRADE MARK

請認明此龍牌爲搭記庶不致誤

本藥房主人由英國來華創設大藥房於香港並分設代理於各省埠自製西藥品靈效非常後行已九十餘年矣近日世風日下竟有無恥之徒以偽藥或影印本藥房之商標以影射世人本藥房茲用是登報聲明俾諸君得知一切凡購本藥房各種藥品須有本藥房之代理局方是真貨否則便是私製以圖利幸各留意

臺北市永樂町二丁目

驅除木虱 惟用此法